

「佐久市住民投票についての意識調査」調査報告書

調査実施者： 塩沢 健一（日本学術振興会特別研究員／中央大学大学院兼任講師）
スティーブン・R・リード（中央大学総合政策学部教授）

この調査は、2010年11月14日に長野県佐久市で行われた住民投票について、佐久市の有権者計3000名（旧佐久市および旧町村部の両地域から各1500名ずつ。全有権者の約3.7%）を対象として実施したものです。突然の調査票の送付にもかかわらず、調査の趣旨を理解していただき、お忙しい中ご回答くださった多くの住民の方々に心より感謝申し上げます。

- * 今回の調査は、純粋に学術目的で実施したものであり、特定の機関からの委託等によって行ったものではない。
- * 集計された回答は、十分な客観性を有しており、研究面においては利用価値の高いものと言える。しかしながら、集計結果そのものについては統計学的な理由により、データに「ひずみ」が生じている場合もある。
- * また、今回の調査の回答率（52.0%）は、この種の調査としては十分満足いくものではあるが、実際の住民投票と異なり、全有権者のごく一部の方々のご意見をお伺いしたに過ぎない。以上の理由により、集計結果については「参考程度」ととどめ、くれぐれもご留意いただきたい。
- * 今回の調査は、平成22年度文部科学省科学研究費補助金（特別研究員奨励費）に基づき実施しています。
- * なお、この調査報告書について、ご質問や疑問に思う点などがありましたら、下記までご連絡ください。ただし、本書に掲載された内容以外についてのご質問には、お答えできかねますので、ご了承ください。

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学総合政策学部 リード研究室
E-mail: chousa@tamacc.chuo-u.ac.jp（担当：塩沢）

調査の概要

調査実施期間：2010年11月15日～12月26日

調査方法：郵送による調査（督促1回）

対象者総数：満20歳～79歳の有権者3000人

（旧佐久市および旧町村部の両地域から各1500人ずつ）

対象者実数：2972人 [旧佐久市：1480人 旧町村部：1492人]

（対象者総数から転居・不着などの調査不能者を引いた数）

抽出方法：層化二段無作為抽出。10月28日に佐久市選挙管理委員会にて、所定の手続きを経て選挙人名簿を閲覧し、筆記による抽出作業を実施。

有効回答数：1544件 [旧佐久市：789件 旧町村部：755件]

回答率：52.0%（有効回答数／対象者実数）

[旧佐久市：53.3% 旧町村部：50.6%]

* 本調査の目的

わが国で初の住民投票となった、原子力発電所建設の是非をめぐる新潟県巻町の住民投票が1996年に実施されてから、約15年が経過した。その間、わが国では地方分権の推進が図られ、その一環として、分権後の受け皿づくりなどを目的に「平成の大合併」が行われた。市町村合併による自治体規模の拡大は、政治学的な視点から見れば、市町村レベルにおける「民意」の形が変わりうることを意味し、したがって、合併後の広域自治体で住民投票が行われる場合には、旧市町村単位で少しずつ異なった意見分布が表れる可能性が考えられる。

本調査の第一の目的として、「平成の大合併」により誕生した広域自治体における「民意」のあり方について、検討を加えることとしたい。佐久市の住民投票は、「平成の大合併」で誕生した自治体で行われた初めてのケースであり、また佐久市の合併パターンとしては、中心市である旧佐久市と人口規模が一回り小さい3つの町村という組み合わせであった。これらの点に着目して、本調査では旧佐久市と旧町村部の両地域から調査対象者を半数ずつ抽出し、中心部と周辺部との比較が可能となるような形で調査を実施した。佐久市の住民投票で争点となった総合文化会館の建設をめぐる問題は、旧佐久市の時代からの懸案でもあるため、住民投票における態度形成や投票行動について詳細な分析を試みることによって、何らかの地域間での相違が見られると予想される。

佐久市の住民投票は、「住民投票条例」に基づくケースとしては全国で400件目の事例となったが、これまでに各地で実施されてきたものは、そのほとんどが市町村合併に関するケースであり、それ以外でも、原発や基地、産廃処分場などいわゆる「迷惑施

設」の是非をめぐるケースが中心であった。それに対して、佐久市のケースでは「総合文化会館の建設」について賛否を問うものであった。争点の性質上、文化・芸術の振興のあり方や、建設した場合の運営・維持管理の問題などが議論的となり、当然、これまでの住民投票とは各有権者が賛否を決定する際の判断基準も異なってくる。

本調査の第二の目的は、文化や芸術といった各個人の価値観にも関わる争点のもとで行われた住民投票において、各有権者がいかなる判断を下し、また住民投票が実施されたこと自体をどのように評価したのかを明らかにすることにある。佐久市の住民投票は、成立要件である投票率50%を超え、約55%の投票率を記録したことから、市民の関心は十分に高かったと捉えることができる。同様の先行事例が極めて少ない中での佐久市の試みは、本格的な地方分権時代を迎えつつある今日において、非常に意義深いものであると言ってよい。だが同時に、直近の市長・市議選と比較すると、投票率は20ポイント以上低く、棄権した人の中には、賛否の判断に最後まで迷った人や、住民投票の実施そのものに疑問を抱いた人も少なくないと思われる。これらの点を踏まえたうえで、総合文化会館の建設をめぐる問題が、住民投票の争点としてどこまで妥当性を持つものであったのか、そのことについても検証を試みたい。

他方で、私自身、これまでわが国で実施されてきた住民投票に関して、過去に4件の郵送調査（広島県府中町、大阪府高石市、埼玉県蓮田市・白岡町・菖蒲町、山口県岩国市）を行ってきた。住民投票の争点は、岩国市が米軍基地をめぐる問題であり、残りの3件は市町村合併に関するものであったが、これらの調査においては、事例間の比較が可能となるよう、同一内容の設問を数問、毎回用意してきた。

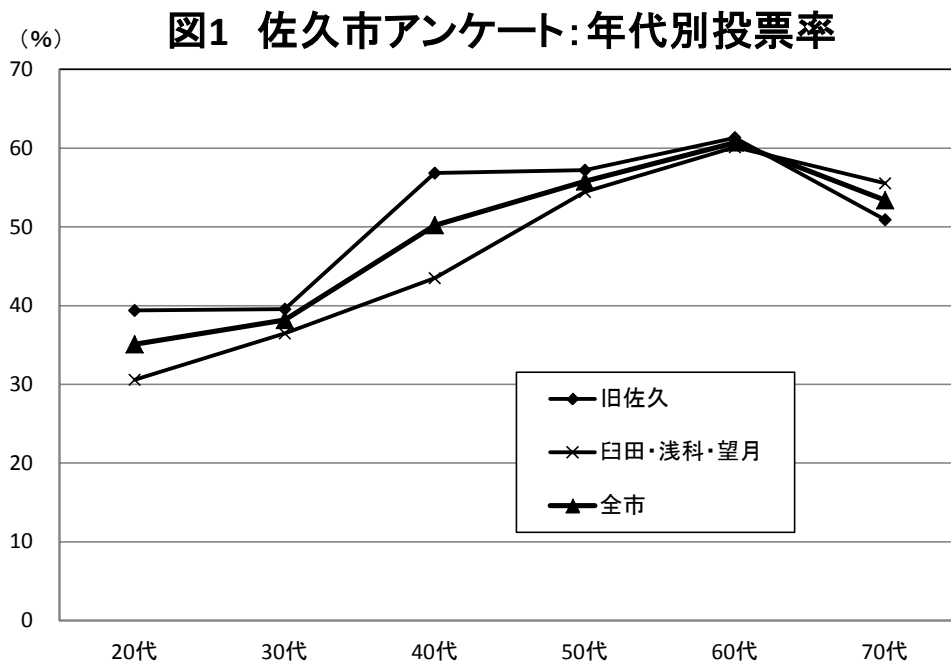
本調査における第三の目的として、住民投票の際に参考にした情報源や、日頃の行政に対する評価、政党支持などの要因が有権者の投票行動に及ぼす影響について分析し、合併問題や基地問題をめぐる住民投票と、今回の佐久市の住民投票との間で、いかなる相違点があるのかを、実証的に明らかにしたい。

以上の目的に合致する事例であることから、今回の調査では、長野県佐久市を調査地として選定した。

1. 年代別の回答状況

郵送調査の場合、若い人ほど調査そのものへの関心度は一般的に低いため、若い人の回答率は低くなってしまふのが普通である（「社会調査へのアプローチ[大谷信介編著]」などを参照）。そのため、各設問の集計結果を見る前に、年代別の回答状況について説明しておきたい。

- * 年代ごとに回答率を見ると、私が過去に実施した調査と比べれば若い層の回答は相対的に多く、住民投票に対する佐久市の若者の関心の高さを読み取ることができる。それでも他の年代と比較すると、20、30代の回答率がやや低い結果となった（図1参照）。したがって、各年代の回答者数の割合に関しては、どの年代でも、旧佐久市および旧町村部における実際の人口構成比とは、やや乖離していると思われる。男女別で見ても、女性の回答がやや多かったため、やはり同様に乖離が見られる。これらのことから、今回の調査結果の解釈には、一定の限界があることを述べておかねばならない。



2. 有権者の投票行動

問1 あなたは11月14日に行われた佐久市総合文化会館の建設の賛否を問う住民投票で投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	590	74.8
2	投票しなかった	197	25.0
99	無回答	2	0.3
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	564	74.7
2	投票しなかった	191	25.3
99	無回答	0	0.0
	合計	755	100.0

問2 問1で「1. 投票した」と答えた方にお聞きます。住民投票では、どちらの選択肢に投票しましたか。さしつかえなければ、一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			%
1	(建設に)賛成	175	22.2
2	(建設に)反対	411	52.1
	非該当	199	25.2
99	無回答	4	0.5
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			%
1	(建設に)賛成	104	13.8
2	(建設に)反対	455	60.3
	非該当	191	25.3
99	無回答	5	0.7
	合計	755	100.0

投票参加に関して

- ・ 実際の投票率に比べると、投票に行った人の割合は20ポイントほど高くなっているが、この種の調査では、元々関心の低い方から回答を得るのは簡単なことではないので、上記の数字は許容範囲と言える。
- ・ 地域別や年代別の投票率に関しては、佐久市のウェブサイトでも公開されているが(参照：<http://www.city.saku.nagano.jp/cms/html/entry/3818/130.html>)、実際の住民投票と同様に、地域別の投票参加の割合については、本調査においても目立った差は見られない。また、年代別で見ると、通常の選挙で広く見られるのと同様に、若い人ほど「投票した」という割合は低く、年齢とともにその割合

は上昇する。

賛否の行動に関して

- ・ 実際の住民投票においては反対票が有効投票の約7割を占めたが、本調査でも旧佐久市、旧町村部ともに、反対票を投じた人の割合が賛成に投票した人を大きく上回っている。他方、投票先を答えた人の中で賛成者の割合に着目すると、旧町村部では賛成の割合が2割弱にとどまるのに対し、旧佐久市では約3割となっており、若干の差ではあるが、旧町村部よりも旧佐久市内のほうが、賛成者の割合は相対的に高い。
- ・ 年代別で見ると、旧佐久市では20代、30代、50代で反対者の割合が75%を超えており、逆に40代、60代、70代では賛成者の割合が3割を超える結果となっている。一方、旧町村部では、どの年代でも反対票を投じた人の割合が8割前後に達しており、年齢層による明確な差異は確認できない。
- ・ 地区別のデータに着目すると、旧佐久市内では、浅間、野沢、東の各地区では反対者の割合はいずれも65%前後であるのに対し、中込地区だけは反対が約84%と他の地区に比べてやや突出している。この点については、中込地区に特有の何らかの要因が影響しているのかどうか、今後さらに検証を試みたい。
- ・ また、旧町村部に関しては、浅科、望月の両地区で反対者の割合が75%前後に上るが、臼田地区ではその数字をさらに上回り、反対の割合は9割近くに達している。これについてはやはり、総合文化会館が仮に建設された場合に、臼田地区にあるコスモホールの運営が苦しくなることなどへの懸念が、臼田地区の住民の間で特に強かったものと思われる。

3. 賛否の投票理由

また、その選択肢に投票した理由も具体的にお聞かせください。 ※自由回答形式

【旧佐久市／賛成】		%
文化や芸術の振興・発展のために必要だから	56	32.0
地域の活性化が期待できる	34	19.4
都市規模に見合う文化施設が必要だから	33	18.9
立地条件が良い	22	12.6
以前からの計画だから	13	7.4
今が建設すべき時期だから	13	7.4
その他	23	13.1
無回答	37	21.1
合計	175	100.0

【臼田・浅科・望月／賛成】		%
都市規模に見合う文化施設が必要だから	25	24.0
文化や芸術の振興・発展のために必要だから	24	23.1
地域の活性化が期待できる	17	16.3
立地条件が良い	8	7.7
以前からの計画だから	7	6.7
今が建設すべき時期だから	7	6.7
その他	9	8.7
無回答	28	26.9
合計	104	100.0

【旧佐久市／反対】		%
建設費や維持管理費の負担が大きいため	164	39.9
既存の類似施設を活用すべき	92	22.4
他にもっと優先すべき課題があるから	60	14.6
建設しても有効活用が見込めない	49	11.9
地域や国の経済・財政状況が良くないから	48	11.7
建設計画の内容や過程に不満がある	26	6.3
その他	26	6.3
無回答	67	16.3
合計	411	100.0

【臼田・浅科・望月／反対】		%
建設費や維持管理費の負担が大きいため	163	35.8
既存の類似施設を活用すべき	123	27.0
建設しても有効活用が見込めない	52	11.4
地域や国の経済・財政状況が良くないから	49	10.8
他にもっと優先すべき課題があるから	38	8.4
建設計画の内容や過程に不満がある	16	3.5
その他	30	6.6
無回答	90	19.8
合計	455	100.0

賛成理由に関しては、旧佐久市と旧町村部で回答数を合計すると、「文化や芸術の振興・発展に必要だから」とする意見が最も多く、他方、回答数は少ないため参考程度にとどめておく必要があるものの、旧町村部に限ると、「都市規模に見合う文化施設が必要だから」が最多となっている。また、「地域の活性化が期待できる」とする意見も多い。

反対理由に関しては、旧佐久市、旧町村部ともに「建設費や維持管理費の負担が大きいため」との意見が最も多く、反対票を投じた人の4割弱に達している。他の理由と合わせて考慮しても、総合文化会館の建設をめぐる問題については、財政負担の観点を最も重視し建設に反対した市民がやはり多かったと言える。

4. 住民投票における棄権の理由

問3 問1で「2. 投票しなかった」と答えた方にお聞きします。あなたが投票しなかったのは、どのような理由からですか。次の中から、あてはまるもの全てに○を付けてください。

【旧佐久市】		%
用事・仕事があったから	79	40.1
健康上の理由から	30	15.2
投票に行くのが面倒だったから	20	10.2
総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから	42	21.3
どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	37	18.8
自分一人が投票してもしなくても同じだから	10	5.1
住民投票があることを知らなかったから	3	1.5
その他	27	13.7
無回答	0	0.0
合計	197	100.0

【臼田・浅科・望月】		%
用事・仕事があったから	77	40.3
健康上の理由から	26	13.6
投票に行くのが面倒だったから	11	5.8
総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから	34	17.8
どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	42	22.0
自分一人が投票してもしなくても同じだから	10	5.2
住民投票があることを知らなかったから	12	6.3
その他	27	14.1
無回答	1	0.5
合計	191	100.0

投票しなかった理由に関しては、いずれの地域においても「用事・仕事があったから」との回答が最も多いが、「投票に行くのが面倒だったから」「総合文化会館をめぐる問題に関心がなかったから」といった無関心による棄権に加え、「どちらに投票したらよいか判断に迷ったから」とする回答も棄権した人の2割前後に上っている。また、「その他」の回答の中には、「住民投票の実施自体に反対」といった意見も両地域でそれぞれ十数件ずつ見られたことから、「投票実施に疑問を感じていた」などの選択肢も問3では提示すべきであったと思われる。

いずれにせよ、佐久市の住民投票を棄権した有権者には、用事や仕事、あるいは健康上の理由などにより物理的に投票に行けなかった人や、無関心による棄権に加え、判断に迷った末に棄権した人や、データとして必ずしも明確には表れていないものの、住民投票の実施に対する反発から棄権した人も少なからずいたと考えられる。したがって、住民投票の投票率（54.87%）が、そのまま単純に市民の関心度を表していると考えるのは早急であり、実際には棄権した人も含めて、総合文化会館をめぐる問題に対しての市民全体の関心は概ね高かったと言えそうである。

5. 市民説明会や公開討論会への参加、住民投票に対する評価

問4 今回の住民投票に関して、市民説明会や公開討論会には参加しましたか。			
【旧佐久市】			%
1	参加した	71	9.0
2	参加しなかった	714	90.5
99	無回答	4	0.5
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	参加した	88	11.7
2	参加しなかった	662	87.7
99	無回答	5	0.7
	合計	755	100.0

問5 今回、総合文化会館をめぐる問題について佐久市が住民投票を実施したことは、良かったと思いますか。			
【旧佐久市】			%
1	良かった	540	68.4
2	良くなかった	91	11.5
3	どちらともいえない	151	19.1
99	無回答	7	0.9
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	良かった	535	70.9
2	良くなかった	66	8.7
3	どちらともいえない	149	19.7
99	無回答	5	0.7
	合計	755	100.0

今回の佐久市の住民投票では、告示直前までの約1カ月の間に市内各地で市民説明会が開催され、また、賛否両派の代表者を交えた公開討論会も二度行われたが、これらに参加したと答えた人は、回答者全体の1割程度にとどまる。参加した人のほとんどは住民投票で投票したと答えており、有権者全体の中でも特に関心の高かった人々であると捉えることができる。

他方で、総合文化会館をめぐる問題について住民投票が実施されたことへの評価を尋ねた問5では、旧佐久市および旧町村部のいずれにおいても、「良かった」と答えた人が7割前後に上っており、住民投票の実施については多くの市民が評価していると言える。ただ、賛否の行動との間でクロスデータを取ると、反対票を投じた人は9割前後が「良かった」と回答している一方、賛成票を投じた人に関しては、今回の住民投票に対する評価は「良かった」「良くなかった」「どちらともいえない」にほぼ三分されている。

つまり、賛成票を投じた有権者に限ると、住民投票の実施について納得しているのは3分の1強にとどまっており、賛成者の中にはやはり、今回の住民投票に関して割り切れない思いを抱いている人も多いことが分かる。

6. 文化や芸術への関心、出演者としてのホール利用経験

問6 あなたは、文化や芸術全般について、どの程度関心がありますか。			
【旧佐久市】			%
1	大いに関心がある	134	17.0
2	ある程度関心がある	404	51.2
3	どちらともいえない	128	16.2
4	あまり関心がない	97	12.3
5	全く関心がない	17	2.2
99	無回答	9	1.1
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	大いに関心がある	100	13.2
2	ある程度関心がある	390	51.7
3	どちらともいえない	127	16.8
4	あまり関心がない	119	15.8
5	全く関心がない	13	1.7
99	無回答	6	0.8
	合計	755	100.0

問7 あなたは今まで、学生時代の部活動や課外活動、地域のサークル活動などで、 出演者として公共のホール(市外の施設も含む)を利用したことがありますか。			
【旧佐久市】			%
1	利用したことがある	304	38.5
2	利用したことはない	472	59.8
99	無回答	13	1.6
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	利用したことがある	317	42.0
2	利用したことはない	427	56.6
99	無回答	11	1.5
	合計	755	100.0

まず問6では、文化や芸術全般に対する関心について尋ねた。両地域とも「ある程度関心がある」が半数を超えており、「大いに関心がある」と合わせると全体の6割以上が文化や芸術について関心を持っていることが分かる。投票行動との関係で見ても、関心が高い人ほど積極的に投票に参加しており、また関心が高い人ほど賛成票を投じる傾向も見られる。ただ、「大いに関心がある」と答えた人でも、賛成票を投じた人の割合は旧佐久市で4割強、旧町村部では約3割にとどまっている。実際、投票理由や自由回答などを詳細に見ても、総合文化会館については「あったら良いと思うが、現状では厳

しい」といった意見も多く見られることから、今回の住民投票では、自らの文化・芸術への関心と財政の問題とをてんびんにかけて、最終的に反対票を投じた人も少なくなかったと言えそうである。

また、出演者としてのホールの利用経験を尋ねた問7では、両地域いずれにおいても、「利用したことがある」という人が約4割に上る。ホールの利用経験と投票行動との関係では、投票参加および賛否の行動のいずれに対しても、明確な相関関係は確認できない。

7. 公共のホールを訪れた回数

問8 では逆に、あなたはコンサートや演劇、発表会などを鑑賞するために、最近5年間で平均してどの程度、公共のホールを訪れたことがありますか。佐久市内(コスモホールなど)、佐久市以外の長野県内について、それぞれ一つ選んで○を付けてください。

・佐久市内のホールを訪れた回数

		【旧佐久市】	%
1	月に2～3回程度	7	0.9
2	月に1回程度	44	5.6
3	半年に1回程度	149	18.9
4	一年に1回程度	274	34.7
5	訪れたことはない	296	37.5
99	無回答	19	2.4
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	月に2～3回程度	9	1.2
2	月に1回程度	44	5.8
3	半年に1回程度	153	20.3
4	一年に1回程度	284	37.6
5	訪れたことはない	253	33.5
99	無回答	12	1.6
	合計	755	100.0

・佐久市以外の長野県内のホールを訪れた回数

		【旧佐久市】	%
1	月に2～3回程度	4	0.5
2	月に1回程度	13	1.6
3	半年に1回程度	118	15.0
4	一年に1回程度	269	34.1
5	訪れたことはない	357	45.2
99	無回答	28	3.5
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	月に2～3回程度	6	0.8
2	月に1回程度	10	1.3
3	半年に1回程度	80	10.6
4	一年に1回程度	264	35.0
5	訪れたことはない	372	49.3
99	無回答	23	3.0
	合計	755	100.0

問8では、各回答者が佐久市内外の近隣のホールで文化や芸術に触れる機会が、どの程度あるのかを尋ねた。全体的に見ると、コンサートや演劇、発表会などを鑑賞するために頻りにホールを訪れている人は少数派であり、半年に1回以上訪れている人を合計すると、佐久市内のホールに関しては3割に満たず、佐久市以外の長野県内のホールでは、その割合は2割以下にとどまる。

投票行動との関係に着目すると、例えば佐久市内のホールを訪れた回数とのクロスデータでは、「訪れたことはない」人では旧佐久市および旧町村部いずれにおいても、反対票を投じた人が8割を超える一方、半年に1回以上訪れている人では、旧佐久市内において4割強が賛成票を投じている（旧町村部では、賛成者の割合は2割強にとどまる。）。したがって、公共のホールに直接足を運んで文化や芸術に触れる機会を持つ人は全体として少ないが、その頻度によっても、住民投票における賛否の行動がある程度まで左右されていたと考えられる。

8. 総合文化会館をめぐる問題の重要度

問9 総合文化会館をめぐる問題は、市政全体の中でどの程度重要だとお考えですか。
この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			％
1	かなり重要である	211	26.7
2	ある程度重要である	320	40.6
3	どちらともいえない	123	15.6
4	あまり重要ではない	99	12.5
5	全く重要ではない	20	2.5
99	無回答	16	2.0
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			％
1	かなり重要である	195	25.8
2	ある程度重要である	264	35.0
3	どちらともいえない	131	17.4
4	あまり重要ではない	112	14.8
5	全く重要ではない	43	5.7
99	無回答	10	1.3
	合計	755	100.0

一般的に住民投票には、間接民主制を「補完」する役割が期待されている。すなわち、わが国の地方自治においては、首長と議会の意見が対立し政策決定が停滞するようなケースや、首長・議会ともに明確な判断を示すことができないようなケースに関して、直接住民の判断にゆだねることが想定される。ただ、その場合に、政策決定に直接参加することになる住民自身が、争点となる政策課題の重要性をどのように認識しているかによって、住民投票の持つ有効性も変わってくる可能性がある。そこで問9では、住民自身が総合文化会館をめぐる問題について、市政全体の中でどの程度重要だと考えているかを尋ねている。

「かなり重要」と「ある程度重要」の合計で見ると、旧佐久市で約67%、旧町村部でも約61%が重要であると考えており、市政全体の中で総合文化会館をめぐる問題は、概ね市民の間でも重要な問題として認識されていたと言える。

ただ、一言で「重要」と言っても、「建設すること」が重要だと考える人もいれば、「議論すること」が重要だと考える人もいると思われ、その点において、この設問は尋ね方にやや不十分な点があったことも認めなければならない。実際、住民投票の実施が良かったかどうかを尋ねた問5との間でクロスデータを確認すると、住民投票を実施したことが「良かった」と答えた人でも「良くなかった」と答えた人でも、それぞれ旧佐久市で7割以上、旧町村部で6割以上が、問9において「かなり重要」あるいは「ある程度重要」であると回答している。したがって、問9の回答は住民投票自体の評価とは単純に結びつくものではなく、その点はやや注意を要する。

9. 情報源への接触

問10 投票をどうしようか考える際に参考にしたものについてお尋ねします。

[1] 投票日までに、今回の住民投票に関して、あなたが見たり、聞いたりしたものがこの中にありましたら、あてはまるもの全てに○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
	市の広報や配布資料	621	78.7
	賛成派・反対派などのチラシ	461	58.4
	テレビ	216	27.4
	新聞	283	35.9
	街頭演説	51	6.5
	インターネット	20	2.5
	近所の住人との会話	277	35.1
	この中のどれも見聞きしない	30	3.8
	その他	38	4.8
99	無回答	12	1.5
	合計	789	100.0
		【臼田・浅科・望月】	%
	市の広報や配布資料	561	74.3
	賛成派・反対派などのチラシ	424	56.2
	テレビ	192	25.4
	新聞	273	36.2
	街頭演説	41	5.4
	インターネット	15	2.0
	近所の住人との会話	253	33.5
	この中のどれも見聞きしない	40	5.3
	その他	23	3.0
99	無回答	12	1.6
	合計	755	100.0

参考にした情報源に関する一連の設問は、市町村合併や基地問題をめぐる住民投票に関して、私が過去に実施した4件の調査とほぼ同一の選択肢を設け、事例間の比較が可能となるようにしたものである。

まず[1]を見ると、旧佐久市および旧町村部いずれにおいても、市の広報や配布資料に目を通してしている人が約4分の3程度いることが分かる。この数字は、過去の4件の調査と比較しても概ね同様であり、佐久市の住民投票でも、行政が発行する資料が広く参照されていたと言える。賛成派・反対派などのチラシについても、過去の調査と比べて大きな差はない。

一方で、テレビや新聞といったメディアから発信された情報に接したという人は、両地域ともに3割前後にとどまる。住民投票の関連記事については、地元紙である信濃毎日新聞を中心として比較的多く扱われてはいたが、報道量としては、市民の注目を集めるほど十分なものではなかったのかもしれない。

[2] ではこの中で、今回の住民投票に関して一番参考にしたものを、一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	
			%
1	市の広報や配布資料	286	36.2
2	賛成派・反対派などのチラシ	113	14.3
3	テレビ	16	2.0
4	新聞	45	5.7
5	街頭演説	3	0.4
6	インターネット	7	0.9
7	近所の住人との会話	77	9.8
8	住民説明会・集会	18	2.3
9	その他	14	1.8
10	参考にしたものはない	161	20.4
11	わからない	33	4.2
99	無回答	16	2.0
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	
			%
1	市の広報や配布資料	294	38.9
2	賛成派・反対派などのチラシ	110	14.6
3	テレビ	17	2.3
4	新聞	36	4.8
5	街頭演説	2	0.3
6	インターネット	1	0.1
7	近所の住人との会話	79	10.5
8	住民説明会・集会	25	3.3
9	その他	6	0.8
10	参考にしたものはない	142	18.8
11	わからない	19	2.5
99	無回答	24	3.2
	合計	755	100.0

続いて [2] では、住民投票に関して一番参考にした情報源について尋ねているが、ここでもやはり市の広報や配布資料を選んだ人が最も多く、その割合は4割弱に上る。この数字は他の情報源や「参考にしたものはない」との回答と比べてもやや飛び抜けており、今回の住民投票においては、市が発信した情報が賛否を決める際の判断材料としても大きな役割を果たしたと言えそうである。

10. 組織・人物からの働きかけ

[3] 今回の住民投票に関して、次の中では、どこ(誰)からの働きかけを一番参考にしましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
	市長	78	9.9
	市議会議員	39	4.9
	市職員	24	3.0
	知人・友人	149	18.9
	家族・親戚	173	21.9
	町内会や自治会	33	4.2
	職場	50	6.3
	その他	7	0.9
	参考にしたものはない	373	47.3
	わからない	30	3.8
99	無回答	22	2.8
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
	市長	62	8.2
	市議会議員	51	6.8
	市職員	20	2.6
	知人・友人	147	19.5
	家族・親戚	147	19.5
	町内会や自治会	29	3.8
	職場	49	6.5
	その他	5	0.7
	参考にしたものはない	348	46.1
	わからない	28	3.7
99	無回答	27	3.6
	合計	755	100.0

組織や人物などによる働きかけについて尋ねた [3] では、過去4回の調査と同じく「参考にしたものはない」が最も多くなっている。他の事例と同様に、周囲の人物や有力者、組織などによる働きかけに頼るという形ではなく、自らの考えに基づいて投票行動を決定した有権者が比較的多かったと言えそうである。

他方で、今回の住民投票は柳田市長の強い意向によって実現したケースでもあることから、この設問で「市長」を選択する回答が多くなることも予想されたが、その割合は1割弱にとどまっている。同様に市長自身が住民投票を発議した山口県岩国市における調査では、「市長」を選んだ回答が3割強に上っているが、その要因は、争点となった基地問題に関して市長自ら明確な「反対」の意思を事前に示していたことにあると思われる。佐久市の住民投票の場合には、柳田市長が総合文化会館の建設に関して事前の態度表明を行わなかったため、その是非はともかくとして、そうした点が岩国市のケースとの違いとなって表れていると考えられる。

1.1. 情報の取得度

[4] では、今回の住民投票で判断材料となる情報を、あなたはどの程度得られたと感じましたか。一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
1	十分得られた	70	8.9
2	ある程度得られた	374	47.4
3	どちらともいえない	175	22.2
4	やや不十分	81	10.3
5	不十分	66	8.4
99	無回答	23	2.9
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	十分得られた	68	9.0
2	ある程度得られた	344	45.6
3	どちらともいえない	187	24.8
4	やや不十分	81	10.7
5	不十分	53	7.0
99	無回答	22	2.9
	合計	755	100.0

住民投票に関する情報の取得度について尋ねたこの設問では、「十分得られた」と「ある程度得られた」の合計がいずれの地域でも半数を超えているが、この数字は、全国的も大きな注目を集め積極的なメディア報道がなされた山口県岩国市のケースとほぼ同じである。

[1] や [2] の単純集計の結果と併せて考慮すると、ここでの回答結果は、行政による情報提供が必要十分なものであったのと同時に、多くの住民が主体的に情報を取得したうえで、住民投票に臨んでいたことを示すものと捉えることができる。

12. 今後の財政の見通し

問11 あなたは、佐久市の今後の財政の見通しについて、どのようにお考えですか。この中から一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	
			％
1	特に問題はない	28	3.5
2	それほど問題はない	79	10.0
3	どちらともいえない	167	21.2
4	ある程度心配である	338	42.8
5	大いに心配である	164	20.8
99	無回答	13	1.6
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	
			％
1	特に問題はない	21	2.8
2	それほど問題はない	67	8.9
3	どちらともいえない	151	20.0
4	ある程度心配である	339	44.9
5	大いに心配である	164	21.7
99	無回答	13	1.7
	合計	755	100.0

佐久市の財政状況は、客観的な財政指標などを勘案すると比較的健全な部類に入ると言えそうだが、市民の認識としては、今後の見通しについて心配する意見が多く、「大いに心配」と「ある程度心配」を合計すると、旧佐久市・旧町村部のいずれにおいても6割を超える。

こうした財政に対する見通しは、住民投票における投票行動にも一定の影響を及ぼしており、「特に問題はない」と答えた人ではちょうど半数が賛成票を投じているのに対し、「大いに心配である」「ある程度心配である」と答えた人では、いずれも4分の3以上が反対票を投じたと回答している。これらのデータは、会館の建設や維持管理に関する財政負担の問題が、住民投票において大きな争点となっていたことを改めて裏付けるものと言える。

13. 市の行政に対する満足度・市長に対する業績評価

問12 あなたは、佐久市の行政サービスに対してどの程度満足していますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	大いに満足	6	0.8
2	ある程度満足	197	25.0
3	どちらともいえない	348	44.1
4	やや不満足	167	21.2
5	大いに不満足	58	7.4
99	無回答	13	1.6
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	大いに満足	1	0.1
2	ある程度満足	136	18.0
3	どちらともいえない	299	39.6
4	やや不満足	234	31.0
5	大いに不満足	73	9.7
99	無回答	12	1.6
	合計	755	100.0

問13 あなたは、柳田・佐久市長のこれまでの1年半の業績をどのように評価しますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	大いに評価できる	57	7.2
2	ある程度評価できる	276	35.0
3	どちらともいえない	312	39.5
4	あまり評価できない	94	11.9
5	全く評価できない	41	5.2
99	無回答	9	1.1
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	大いに評価できる	57	7.5
2	ある程度評価できる	301	39.9
3	どちらともいえない	283	37.5
4	あまり評価できない	86	11.4
5	全く評価できない	15	2.0
99	無回答	13	1.7
	合計	755	100.0

まず、市の行政サービスに対する満足度を尋ねた問12では、全体としては不満が満足を若干上回る結果となったが、旧佐久市と旧町村部との比較においても、一定の相違が確認できる。「やや不満足」と「大いに不満足」の合計で見た場合に、旧佐久市では3割弱となっているのに対し、旧町村部ではその割合は4割を超えている。臼田・浅科・望月の各地区は合併により佐久市の「周辺部」になったと捉えることができるが、佐久市に限らず「平成の大合併」で誕生した新自治体では、周辺部における行政サービスの低下に対する住民の不満が、各地で伝えられている。そうした傾向が一定程度、数字となって表れたと言えるだろう。ただ、住民投票における投票行動との間でクロスデータを取ると、行政満足度との間で明確な相関関係を読み取ることはできない。

続いて問13では、柳田清二・佐久市長の就任から1年半の業績評価について尋ねている。こちらについては、両地域間の比較において明確な相違はなく、いずれの地域でも4割以上の方が「大いに評価」あるいは「ある程度評価」できると回答している。こうした市長に対する評価は、住民投票を実施したことに対する評価とも密接に関係しており、「大いに評価できる」と答えた人では住民投票の実施を「良かった」とする人がいずれの地域でも9割以上に上る一方、「全く評価できない」という人では住民投票の実施を「良かった」と答えた人は、旧佐久市で約4分の1にとどまり、旧町村部に至っては一人もいない。これらのことから、少なくとも本調査においては、市長に対する業績評価が住民投票を実施したことに対する評価としてなされている側面も多分にあるということ、ここでは指摘することができる。

14. 合併に関連した感情、意識、考え

問14 平成17年4月1日に佐久市・臼田町・浅科村・望月町が合併して、現在の「佐久市」が誕生しました。それに関連して、いくつかお尋ねします。

[1] あなたは、上記の合併の時点でどちらにお住まいでしたか。

		【旧佐久市】		%	
1	旧佐久市	700	88.7		
2	旧臼田町	7	0.9		
3	旧浅科村	7	0.9		
4	旧望月町	1	0.1		
5	その他の市町村	65	8.2		
99	無回答	9	1.1		
	合計	789	100.0		

		【臼田・浅科・望月】		%	
1	旧佐久市	13	1.7		
2	旧臼田町	336	44.5		
3	旧浅科村	147	19.5		
4	旧望月町	215	28.5		
5	その他の市町村	35	4.6		
99	無回答	9	1.2		
	合計	755	100.0		

[2] [1]で1～4のいずれかを選んだ方にお聞きます。[1]で答えた旧市町村と比べて、あなたは、現在の佐久市をどの程度身近に感じていますか。一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】		%	
1	身近に感じる	96	12.2		
2	ある程度身近に感じる	100	12.7		
3	特に変わらない	416	52.7		
4	ある程度遠く感じる	62	7.9		
5	遠く感じる	27	3.4		
	非該当	74	9.4		
99	無回答	14	1.8		
	合計	789	100.0		

		【臼田・浅科・望月】		%	
1	身近に感じる	35	4.6		
2	ある程度身近に感じる	96	12.7		
3	特に変わらない	217	28.7		
4	ある程度遠く感じる	224	29.7		
5	遠く感じる	134	17.7		
	非該当	44	5.8		
99	無回答	5	0.7		
	合計	755	100.0		

[3] すべての方にお聞きします。佐久市の合併について、あなたは現在、どのように評価していますか。一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	大いに評価できる	46	5.8
2	ある程度評価できる	210	26.6
3	どちらともいえない	355	45.0
4	あまり評価できない	136	17.2
5	全く評価できない	28	3.5
99	無回答	14	1.8
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	大いに評価できる	32	4.2
2	ある程度評価できる	170	22.5
3	どちらともいえない	230	30.5
4	あまり評価できない	251	33.2
5	全く評価できない	58	7.7
99	無回答	14	1.9
	合計	755	100.0

[4] すべての方にお聞きします。佐久市が合併したことにより、新市のまちづくりに必要な財源として「合併特例債」を活用することができます。これについて、次のA・B二つの考え方があるとして、

A: 返済にあたり7割を国が負担してくれるので、積極的に活用すべきである。

B: 借金であることに変わりはないので、活用は最低限にとどめるべきである。

あなたの考えはどちらに近いですか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	Aに近い	95	12.0
2	どちらかといえばAに近い	132	16.7
3	どちらかといえばBに近い	266	33.7
4	Bに近い	285	36.1
99	無回答	11	1.4
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	Aに近い	70	9.3
2	どちらかといえばAに近い	115	15.2
3	どちらかといえばBに近い	273	36.2
4	Bに近い	284	37.6
99	無回答	13	1.7
	合計	755	100.0

現在の佐久市は、平成17年に4つの市町村が合併して誕生した新自治体である。いわゆる「平成の大合併」で誕生した市町村で住民投票が行われたのは、今回の佐久市が初めてのケースであったため、市町村合併にともなう感情や評価と、住民投票における態度形成や投票行動との関連性についても、本調査および今後の研究において探ることとしたい。

まず、合併時点での居住地について尋ねた〔1〕を見ると、「その他の市町村」と回答した人の割合は旧佐久市で8.2%、旧町村部では4.6%にとどまる。したがって、今回の住民投票における有権者の大半は、旧4市町村のいずれかの住民として佐久市の合併を経験しており、市町村合併によって生じた意識や感情と住民投票との関連性について分析する上で、佐久市は適切な調査地であるということが分かる。

そのうえで〔2〕の集計結果を見ていくと、現在の佐久市に対する親近感は、旧佐久市内と旧町村部で大きな開きがある。旧佐久市において特徴的なのは、「特に変わらない」が半数を超えている点である。佐久市の合併において、旧4市町村の中では旧佐久市は自治体規模の面で明らかに中心的存在であり、旧佐久市の住民にとっては、合併前も合併後も「佐久市民」であることに変わりはないため、このような集計結果になるのもごく自然なことである。一方、旧町村部では「ある程度遠く感じる」と「遠く感じる」の合計が半数近くに達しており、合併前の旧市町村と比べて現在の佐久市に対して心理的な距離感を感じている住民が多いことが分かる。旧町村間でさらに詳細に比較すると、とりわけ望月地区において現在の佐久市に対する距離感が強く、「ある程度遠く感じる」と「遠く感じる」の合計は6割近くに上っている。

続いて〔3〕では、佐久市の合併に対する現時点での評価を尋ねているが、ここでも旧佐久市と旧町村部において〔2〕と比較的似たような傾向が見られる。「あまり評価できない」と「全く評価できない」の合計は旧佐久市では約2割にとどまるのに対し、旧町村部では約4割に達している。合併そのものに対する不満も、やはり旧町村部では相対的に強いと言える。

また、いずれの地域においても、合併に対する評価と賛否の行動との間に一定の相関関係を読み取ることができる。例えば旧町村部では、佐久市の合併を「大いに評価できる」と答え、投票に参加した人のうち賛成票を投じたという回答が4割を超えているが、逆に合併を「全く評価できない」という人では、投票した人のほぼ全員が反対に投票したと答えている。旧佐久市でも、概ね似たような傾向が見られる。したがって、これらのことから、合併に対する評価もまた、住民投票における賛否の行動を規定する要因として一定程度まで作用していたと推測することができる。

最後に〔4〕では、合併特例債についての考えを尋ねている。これに関しては居住地域による差は見られず、いずれの地域でも7割前後が「B：借金であることに変わりはないので、活用は最低限にとどめるべきである。」に近い考えを持っていることが分かる。〔4〕の集計結果と賛否の行動との間にもかなりはっきりした相関を読み取ることができ、旧佐久市および旧町村部ともに、「積極的に活用すべき」と考える人は半数以上が賛成に投票しており、逆に「活用は最低限にとどめるべき」とする人は8割以上が反対に投票している。

15. 最近行われた選挙について

問15 最近行われた選挙についてお尋ねします。

[1] あなたは、今年8月に行われた長野県知事選で投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	659	83.5
2	投票しなかった	122	15.5
99	無回答	8	1.0
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	645	85.4
2	投票しなかった	101	13.4
99	無回答	9	1.2
	合計	755	100.0

[2] あなたは、今年7月に行われた参議院議員選挙で投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	682	86.4
2	投票しなかった	96	12.2
99	無回答	11	1.4
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	667	88.3
2	投票しなかった	82	10.9
99	無回答	6	0.8
	合計	755	100.0

[3] あなたは、昨年4月に行われた佐久市長選挙では、どの候補者に投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	柳田清二(現市長／無所属・新人)	458	58.0
2	木曾茂(無所属・新人)	166	21.0
3	投票しなかった	71	9.0
4	当時、有権者ではなかった	25	3.2
5	覚えていない	57	7.2
99	無回答	12	1.5
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	柳田清二(現市長／無所属・新人)	479	63.4
2	木曾茂(無所属・新人)	138	18.3
3	投票しなかった	47	6.2
4	当時、有権者ではなかった	21	2.8
5	覚えていない	56	7.4
99	無回答	14	1.9
	合計	755	100.0

[4] ではあなたは、佐久市長選挙の際に、総合文化会館をめぐる問題のことをどの程度重視しましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】		%	
1	かなり重視した	62	7.9
2	ある程度重視した	181	22.9
3	どちらともいえない	121	15.3
4	あまり重視しなかった	171	21.7
5	全く重視しなかった	112	14.2
6	覚えていない	28	3.5
	非該当	90	11.4
99	無回答	24	3.0
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	かなり重視した	63	8.3
2	ある程度重視した	169	22.4
3	どちらともいえない	128	17.0
4	あまり重視しなかった	177	23.4
5	全く重視しなかった	100	13.2
6	覚えていない	27	3.6
	非該当	83	11.0
99	無回答	8	1.1
	合計	755	100.0

通常の選挙との関係性から言うと、住民投票に求められる役割の一つは、選挙の際に重要な争点として認識されていなかった政策課題について改めて住民の意思を確認することである。また、選挙の場合には候補者の人柄や経歴・業績など、政策や公約以外の側面も含めて総合的な判断によって選ばれるため、たとえ各候補者が明確な争点を掲げて選挙を戦ったとしても、個別の政策課題に対する住民意思を確認するには一定の限界があると言える。その一方で、基本的に賛否を二者択一で問う住民投票もまた、しばしば議論が単純化されがちであるため、多様な住民意思を集約する上では一定の限界があると言えるが、ただ、地域の重要課題に対して投票という形で直接意思表示を行うことができるため、普段の選挙では比較的無関心な人々も、住民投票では積極的に投票所に足を運ぶという現象がこれまでも各地で散見されてきた。このような観点から問15では、最近行われた選挙について尋ねている。

[1]～[3]ではそれぞれ、2010年8月に実施された長野県知事選、同年7月に実施された参院選、2009年4月に実施された佐久市長選について質問しているが、これらの選挙で「投票しなかった」と答えた人が、住民投票でどの程度投票に参加しているかを確認してみると、その割合は旧佐久市で3割弱～4割弱、旧町村部で約2割～3割強に上る。住民投票の投票率自体は、長野県知事選とほぼ同程度であり、参院選や市長選と比べると10～20ポイントほど低い。だが、これらの選挙を棄権した人でも住民投票には参加したという人は、決して少なくないと言える。日頃は棄権しがちな有権者の関心を喚起したという点においても、今回の住民投票は一定の成功を収めたと言えそうである。

他方、市長選について尋ねた[3]および[4]に着目すると、[3]の集計結果に関しては、現市長の柳田に投票したという回答がかなり多いが、実際の投票結果は柳田の約35,000票に対し、対立候補の木曾が獲得したのは約25,000票であったから、実際の柳田の得票率はおよそ6割となる。その数字と比べると、[3]で投票先を答えた人の中では柳田に投票した人の割合は75%前後に上り、実際の結果よりかなり高くなっている。これには主に二つの理由が考えられ、一つは、市長選で木曾に投票した一定割合の人が今回の調査に協力しようとしなかった可能性があり、もう一つは、市長選から1年半以上が経過したために有権者の記憶が薄れ、実際には木曾に投票したものの柳田に投票したと思い込んでいる人が少なからずいるという可能性である。いずれにせよ、ここでの集計結果には若干の偏りが見られるため、データの扱いにはやや注意が必要と思われる。

そのことを踏まえたうえで[4]の結果を見てみると、市長選の際には、総合文化会館をめぐる問題のことを「重視した」という人と「重視しなかった」という人が概ね半々に分かれ、市長選でいずれの候補に投票したかによってもその傾向は変わらない。実際の選挙戦では、木曾が「建設推進を明言」し、柳田が「維持負担などに疑問を示し、市民の意向を確認する必要がある」（『信濃毎日新聞』2009年4月14日）としており、両者の主張が最も異なる争点の一つであったが、有権者の多くは必ずしも重要な争点として認識していなかったようである。

16. 普段の政治や選挙について

問16 普段の政治や選挙に関することについてお尋ねします。

[1] あなたは、国や地方の政治にどの程度関心がありますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			％
1	大いに関心がある	201	25.5
2	まあ関心がある	439	55.6
3	あまり関心がない	114	14.4
4	全く関心がない	7	0.9
5	わからない	16	2.0
99	無回答	12	1.5
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			％
1	大いに関心がある	176	23.3
2	まあ関心がある	423	56.0
3	あまり関心がない	125	16.6
4	全く関心がない	5	0.7
5	わからない	16	2.1
99	無回答	10	1.3
	合計	755	100.0

[2] あなたは、国や地方の選挙での投票について、この中のどれに近い考えをお持ちですか。一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			％
1	投票することは国民の義務である	332	42.1
2	投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない	279	35.4
3	投票する、しないは個人の自由である	166	21.0
99	無回答	12	1.5
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			％
1	投票することは国民の義務である	312	41.3
2	投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない	283	37.5
3	投票する、しないは個人の自由である	146	19.3
99	無回答	14	1.9
	合計	755	100.0

[3] あなたは、国や地方の政治をどのくらい信頼できるとお考えですか。国、地方の政治について、それぞれ一つ選んで○を付けてください。

・国の政治について

		【旧佐久市】	%
1	いつも信頼できる	5	0.6
2	ある程度信頼できる	118	15.0
3	時々は信頼できる	358	45.4
4	全く信頼できない	292	37.0
99	無回答	16	2.0
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	いつも信頼できる	3	0.4
2	ある程度信頼できる	120	15.9
3	時々は信頼できる	331	43.8
4	全く信頼できない	285	37.7
99	無回答	16	2.1
	合計	755	100.0

・地方の政治について

		【旧佐久市】	%
1	いつも信頼できる	8	1.0
2	ある程度信頼できる	287	36.4
3	時々は信頼できる	391	49.6
4	全く信頼できない	82	10.4
99	無回答	21	2.7
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	いつも信頼できる	5	0.7
2	ある程度信頼できる	287	38.0
3	時々は信頼できる	363	48.1
4	全く信頼できない	84	11.1
99	無回答	16	2.1
	合計	755	100.0

[4] あなたは普段、テレビのニュースをどのくらい見ますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			%
1	ほぼ毎日見ている	685	86.8
2	週に何回か見ている	66	8.4
3	週1回位見ている	19	2.4
4	2～3週間に1回位見ている	7	0.9
5	全く見ない	4	0.5
99	無回答	8	1.0
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			%
1	ほぼ毎日見ている	652	86.4
2	週に何回か見ている	80	10.6
3	週1回位見ている	11	1.5
4	2～3週間に1回位見ている	4	0.5
5	全く見ない	2	0.3
99	無回答	6	0.8
	合計	755	100.0

[5] あなたは、選挙の結果は政府のやることに、どの程度影響を与えることができると思いますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			%
1	大いに影響を与える	269	34.1
2	少しは影響を与える	406	51.5
3	全然影響を与えない	96	12.2
99	無回答	18	2.3
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			%
1	大いに影響を与える	238	31.5
2	少しは影響を与える	415	55.0
3	全然影響を与えない	86	11.4
99	無回答	16	2.1
	合計	755	100.0

[6] あなたは普段、特定の政党を支持していますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

		【旧佐久市】	%
1	民主党	134	17.0
2	自由民主党	91	11.5
3	公明党	20	2.5
4	日本共産党	18	2.3
5	社会民主党	4	0.5
6	国民新党	5	0.6
7	みんなの党	34	4.3
8	たちあがれ日本	0	0.0
9	新党改革	1	0.1
10	その他	2	0.3
0	支持政党なし	418	53.0
11	わからない	42	5.3
99	無回答	20	2.5
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	民主党	138	18.3
2	自由民主党	92	12.2
3	公明党	18	2.4
4	日本共産党	26	3.4
5	社会民主党	10	1.3
6	国民新党	4	0.5
7	みんなの党	29	3.8
8	たちあがれ日本	4	0.5
9	新党改革	0	0.0
10	その他	3	0.4
0	支持政党なし	383	50.7
11	わからない	33	4.4
99	無回答	15	2.0
	合計	755	100.0

これら一連の設問は、日頃有権者が国や地方の政治に対して抱いている意識が、住民投票における投票行動にどのように影響を与えているのかを分析するために設けたものである。現段階ではまだ詳細な分析は行っていないが、単純なクロスデータを見た限りで言えることとしては、政治的関心が高いほど、地方の政治に対する信頼度が高いほど、また選挙の結果は政府のやることに「影響を与える」と考える人ほど投票に行く人の割合が高いことが確認できた。他方、賛否の行動については、地方の政治に対する信頼度が低い人ほど、また選挙の結果は政府のやることに「影響を与えない」と考える人ほど、反対票を投じる傾向の強いことも、クロスデータによって示された。

なお、政党支持の比率は、同時期に行われたマスコミの世論調査と比べると、本調査では民主・自民の二大政党の支持率がやや低めに出ており、他方で「支持政党なし」層の割合が若干高めとなっている（『読売新聞』2010年12月6日、『朝日新聞』2010年1

2月13日)。ただ、長野県世論調査協会が2011年3月に実施したモニター調査と比較すると、本調査における政党支持と概ね同様の傾向が見られる（参照：<http://www.nagano-yoron.or.jp/>）。

17. 各有権者の属性

ご意見をお伺いするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて少しおたずねします。

Q1 あなたがお住まいの地域は、次の中のどちらですか。			
【旧佐久市】		%	
1	浅間地区	283	35.9
2	野沢地区	219	27.8
3	中込地区	176	22.3
4	東地区	85	10.8
99	無回答・不明	26	3.3
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
1	臼田地区	362	47.9
2	浅科地区	157	20.8
3	望月地区	229	30.3
99	無回答・不明	7	0.9
	合計	755	100.0

Q2 あなたのお年は住民投票の投票日(11月14日)の時点で、満ておいくつですか。			
【旧佐久市】		%	
	20代	65	8.2
	30代	106	13.4
	40代	141	17.9
	50代	167	21.2
	60代	176	22.3
	70歳以上	112	14.2
	無回答	22	2.8
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】		%	
	20代	48	6.4
	30代	81	10.7
	40代	107	14.2
	50代	171	22.6
	60代	181	24.0
	70歳以上	140	18.5
	無回答	27	3.6
	合計	755	100.0

 また性別は、どちらですか。

		【旧佐久市】		%	
1	男性	376	47.7		
2	女性	391	49.6		
99	無回答	22	2.8		
	合計	789	100.0		

		【臼田・浅科・望月】		%	
1	男性	329	43.6		
2	女性	399	52.8		
99	無回答	27	3.6		
	合計	755	100.0		

Q3 あなたは佐久市にお住まいになって、旧・佐久市の頃から数えて何年くらいになりますか。(平成17年4月1日の合併後に臼田・浅科・望月地区から転居した方は、合併後の「佐久市民」になってからの年数をお答えください。)

		【旧佐久市】		%	
1	4年未満	49	6.2		
2	4年以上	94	11.9		
3	12年以上	81	10.3		
4	20年以上	540	68.4		
99	無回答	25	3.2		
	合計	789	100.0		

Q3 あなたはQ1で答えた地域にお住まいになって、何年くらいになりますか。(平成17年4月1日の合併後に、Q1で答えた地区以外の佐久市内から転居した方は、合併後の「佐久市民」になってからの年数をお答えください。)

		【臼田・浅科・望月】		%	
1	4年未満	41	5.4		
2	4年以上	102	13.5		
3	12年以上	67	8.9		
4	20年以上	518	68.6		
99	無回答	27	3.6		
	合計	755	100.0		

Q4 あなたのご職業は何ですか。		【旧佐久市】	
			%
1	農林漁業	40	5.1
2	自営業	91	11.5
3	公務員	39	4.9
4	会社員(管理職)	63	8.0
5	会社員(一般職員)	191	24.2
6	主婦	142	18.0
7	学生	16	2.0
8	無職	112	14.2
9	その他	69	8.7
99	無回答	26	3.3
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	
			%
1	農林漁業	74	9.8
2	自営業	85	11.3
3	公務員	28	3.7
4	会社員(管理職)	52	6.9
5	会社員(一般職員)	156	20.7
6	主婦	140	18.5
7	学生	18	2.4
8	無職	99	13.1
9	その他	75	9.9
99	無回答	28	3.7
	合計	755	100.0

また勤務地は、どちらですか。		【旧佐久市】	
			%
1	佐久市内	318	40.3
2	長野県内	75	9.5
3	その他	17	2.2
	非該当	277	35.1
99	無回答	102	12.9
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	
			%
1	佐久市内	310	41.1
2	長野県内	72	9.5
3	その他	11	1.5
	非該当	261	34.6
99	無回答	101	13.4
	合計	755	100.0

Q5 あなたの最終学歴をおしえてください。(在学中・中退は卒業とします)			
【旧佐久市】			%
1	中学卒(旧制小学・高等小学卒)	77	9.8
2	高校卒(旧制中学卒)	345	43.7
3	高専・短大・専修学校卒	169	21.4
4	大学・大学院卒	172	21.8
99	無回答	26	3.3
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	中学卒(旧制小学・高等小学卒)	118	15.6
2	高校卒(旧制中学卒)	338	44.8
3	高専・短大・専修学校卒	160	21.2
4	大学・大学院卒	111	14.7
99	無回答	28	3.7
	合計	755	100.0

18. 自由回答

調査票の最後に設けた自由解答欄には、多くの住民の方々からご意見・ご感想をいただき、今回の住民投票に対する関心の高さを改めてうかがい知ることができた。明らかな誹謗・中傷にあたりと判断したものを除き、ご記入いただいた内容をほぼそのまま、以下に掲載する。

なお、各回答はあくまでも、回答者自身の主観に基づく記述と言えるため、客観的事実とは異なる内容も含まれる場合がある。最も顕著な例としては、市長選の際の、総合文化会館をめぐる問題に関する柳田市長の公約・主張について、「選挙のときは建設すると言っていた」という回答もあれば、「選挙で反対を公約していた」とする記述もあり、各有権者の認識には一定の揺らぎがあることが分かる。争点に対する候補者の立場を一定程度の有権者が間違っただけで認識するという現象は、政治学の研究では古くから指摘されていることだが、以下ではそうした「主観による誤認」についても、あえてそのまま掲載しているため、お読みいただく際には十分にご留意いただきたい。

<旧佐久市>

選挙時の立会人、市の職員を減らす、もしくはそれを外部に委託することはできませんか。ちなみに、選挙はいつも不在者投票にしています。投票所の重々しい雰囲気嫌なので。
計画したから必ずやるというものでもないと思う。自分が年を取って、住みやすい町になってもらいたい。
今回の住民投票の結果は、現在の経済状況が重く反映していたのではないかと。旧佐久市内には文化会館がなかったので、旧佐久市民の中には長年、文化会館建設を希望していた人たちも多かったと思う。反対派の人達の考え方も理解できる部分もあるが、ただ単に、「箱物不要」論が前面に出ていたような気がする。はたして、すべての箱物が不要かどうか？
投票に行くと反対派と分かるような成立要件はなくすべき。
住民投票は必要だったのか？
昔からの佐久の自然をあまり変えてほしくない。佐久のサービスは、他より悪いと感じることが多い。佐久病院が新しくなることは賛成だが、場所は大反対！！ どうして桜井など、他の場所を考えてくれなかったのか！！ 城山小の自校給食のようないいことは、広めていってもらいたい。
今回の住民投票は、住民の意思を反映できたと思います。一部の権力者の意思が反映され、下々の者は決定事項を押し付けられるのみ。住民が行政に直接参加することにより、今問題となっていることを知り、考え、行動に移すことができる。できることなら、国政、市政も住民投票を希望します。
1. 前市長と市と市議会が一致して建設を促進したものを、柳田市長がトップダウンで反対中止を求めたことは許せない気持ちです。第三者の立場であたりと言いながらメールを出し続けたことも、許せない行為と思っています。
2. そもそも条例で50%と決めたことが問題で、決めるなら少なくとも80%とすべきだと思っています。
3. 信毎社説で、住民投票は「民意がはっきりした」と言いますが、54%ばかりのうちの7割ではっきりしたとは、とんでもない解釈だと思います。
4. 柳田市長は「文化政策を推し進める」と言いますが、具体性が見えず、いったいどんな文化を進めるのですか。信用できません。
5. 国に31億円余も返さなくてはならなくなります、どうするつもりだろうか。こうやって返しますという説明もありませんでした。いろいろ部内で影響が出て、結果的には増税間違いなしと思って涙が出ます。
6. 1. と関係しますが、3000万円余も使ってこんなことをしたことは、市民として許せるものではありません。3000万円余はどこから出たのでしょうか。教育・福祉などに使ったらどんなに助かった人がいるかと思うと残念です。
7. 四半世紀にわたって建設を推進した人々、佐久の文化・芸術の向上を考えた人々を踏みつける結果で、誠に残念です。柳田市長の文化という理念はどんなものかというかと疑います。
中途半端な理解で投票するならば、投票しないほうが良いと思う。

<p>私も趣味でコーラスを長年続けていますが、周りの仲間は皆、建設推進に躍起となり、その中には会長も含まれます。そのために自分の考えは他言せず、どんな集会にも参加できませんでした。ただ、国や県、市の財政状況は悪化するばかりで、成熟きった日本は、今後の見通しさえ立ちません。無駄なことは、子孫のために何ひとつ見逃さず削り落としてほしいと、国、地方を問わずお願いしたいと考えます。</p> <p>以上から、今回の建設中止の結論が出たことについては、大変満足しております。</p>
<p>文化会館の建設は、前市長が勝手に話を進めていて、市長が交代する時に市民投票をしてくれると公約してくれたので、今の市長を選びました。佐久病院の移転問題ではあれだけ騒いだのに、どうして文化会館の建設は、お金を投資してから市民投票になったんだろうと不思議に思います。</p> <p>佐久は新幹線が通ったので人が呼べるとか、見た目だけを重視しないで、千曲川のキレイな水とか、田んぼとか、豊かな自然を大切にしてほしいと思います。(森林税を払っているのだから)</p>
<p>議会の大方の皆さんは、市民の皆さんの声をくみ取っていない。市民の声をもう少し聞いてほしい。</p> <p>議員を選んだ私達にも責任があるが、行政の言いなりで、一体化してしまっている。重要施策は、チェックしてほしい。</p>
<p>文化会館は従来より熱望していたが、今回の建設計画には失望した。</p> <p>理由①: 芸術文化に対する投資は先行投資である。投資である以上は、ミニマムリスクを考えるべきである。</p> <p>②: 今回の計画は大きすぎる。1,200席が適当。</p> <p>③: 圧縮案で削減されるものは、すべて時代に逆行している。太陽光発電、屋上緑化、雨水再利用、コミュニティ関係、屋上へのスロープ等。常人では考えられない。ホールの規模を圧縮し、これらは残すべきと考える。</p>
<p>文化会館の建設は議会から出たもので、市民から出たものではない気がする。市民の意見が反映されていない。</p>
<p>何故、反対派が多かったんですか？ 総合文化会館が出来なければ、その空地は何になるんですか？ 文化会館を造るよりも、もっとやらなければならないことがあるのではないのですか？</p>
<p>議会が50%を成立要件としたことが、多くの人が投票に行くきっかけとなったと感じる。</p>
<p>住民投票については、民意を聞くということで良かったと思いますが、賛成の市会議員については議員資格が疑われる。</p>
<p>今回の投票が、どのように今後の市政に生かされていくのかが興味があります。</p>
<p>箱物はもう造らなくてよいという意見がたくさんあるが、総合文化会館は佐久市の活性化に結びつくのではないのでしょうか。パラダなどに多額のお金がつぎ込まれたが、パラダこそ活性化にもならないし、経済が潤うことは期待できないと思う。(雪の降らない佐久地方ですよ)</p> <p>住民投票はお金がかかるでしょうが、市の重要なことは、この方法で良いと思う。市民として直接市政に参加できるので、喜ばしい。</p>
<p>まずは市税の見直し。ムダな給料を払っているとか思えない市の職員の無能は目に余る。必要のない人員を削減して少数精鋭にすべし。税金で給料をもらっているからには必死で働くべき。</p> <p>一般企業は何百倍も厳しい。親を見てて痛感する。仕分けは各自治体の最小単位ですべき！！</p>
<p>今までに費やした費用、労力はどうなるのでしょうか。大きな目で見て将来のため、ぜひやっておくべきだったと思う時期が来ると思う。</p>
<p>将来のことを考えたら、無駄なものは造らない。結局は赤字で、市民の負担になってしまう。税金をもっと意義あることに使ってほしい。今回の住民投票は良かったと思います。</p>
<p>文化会館の建設について、住民の多数決で決めるべきではない！！文化にあまり関心のない人や興味のない人も大勢いることで、文化会館(コスモホール)があるから・・・という人たちが(話をしているとほとんどの人の)考えだと思えます。しかし、大きな会場がないとそれなりの演劇、オーケストラ等々呼ぶことができないとしたら・・・？</p> <p>「佐久市あたりに文化会館がないなんて」どんどん遅れるばかりですね。大きな文化会館があれば、有名人や見たい聴きたいコンサート等ができるでしょうから、どんどん訪れることでしょう。行きます！残念です。これからの子供たちに、一層文化を育てられるのに。</p>
<p>今回、近所のピアノ講師の方の声掛けにより賛成に投票したが、かなり迷ったの投票でした。</p> <p>確かに近くでコンサートや発表会等、芸術鑑賞できるのはいいとは思いますが、お金には代えられないという考えの反面、1,500席のホールの建設で、コスモホールや穂の香ホールの利用が減ったりして、どの施設も中途半端なことになってしまうのは、無駄な税金の使い方になってしまう気もするので迷いました。</p> <p>今回の住民投票や事前の住民説明会、集会はとても良いことだと思います。</p> <p>白黒はっきりした思いのできない投票だったので、このアンケートによって伝えることができ、少しすっきりしました。ありがとうございました。</p>

<p>今回の住民投票の結果、建設に反対になり、今後の佐久市の経済的発展は見込めなくなると思います。隣の小諸市が、新幹線問題で当時の旧佐久市を論争を繰り広げ、最終的には旧佐久市に新幹線が通るようになり、その結果、小諸市は今や、経済的に発展することができずにいる現状です。今回のこの結果が、小諸市の二の舞いを踏まなければよいのですが。</p>
<p>最近、全国的な風潮として、何か問題があるとすぐ住民投票という傾向が蔓延しているような気がしてなりません。各自治体の首長が衆議院議員と違うのは、よほどのことがない限り4年間の任期を全うできることです。立候補する際には少なくとも任期中のビジョンを住民に訴えて当選しているので、その都度問題があるから住民投票というのは、住民に責任を転嫁するものに他なりません。費用の無駄遣いです。強い信念を持って約束事を実行するのが、信頼される首長ではないでしょうか。信なくば、自ら職務から退くべきと考えます。</p>
<p>総合文化会館の住民投票を行って、本当に良かったと思います。反対の代表の方に感謝いたします。まだ佐久市内には、広域の火葬場をどこに建設するのかという問題もあり、関心を持っています。</p>
<p>市議会で決定していた問題について住民投票で賛否を問うやり方は、経費の無駄遣いだと思います。</p>
<p>総合文化会館は、全市民が必ず必要とするものとは思えませんし、建設した後の維持費を考えると、無駄な税金になると思います。</p>
<p>将来は佐久市に限らず高齢者が増えるので、福祉施設、老人ホーム、病院等、老後の生活が少しでも安心できるような施設なら、建設を望んでいます。介護に携わる人々の仕事はとても重要です。</p>
<p>佐久市は、全国でも有数の高齢者(長寿)都市です。元気な高齢者が多く、その健康を支える公民館活動が活発で、そこに参加するお年寄りが多いです。というのは、市の行政サービスが行き届いていることにも思えます。</p>
<p>しかし一方では、活動に参加するには自分の車を持ち、自分で運転するか、人に乗せてもらうかして足(車)を確保しなければなりません。政治や文化にある程度関心を持っている私も、東京在住の折にはよく投票にも行き、文化にも親しみましたが、佐久に定住するようになってからは、人に頼ってまではそのような社会参加に出歩きません。このような“交通難民”とでも言えそうな高齢者も多いことを、一筆書き添えておきます。</p>
<p>25年前からのことが、今の世に合わなくなってしまっている。行政が変に感じる。もっとスピーディーな政治を希望します。</p>
<p>今回の投票で、総合文化会館は建設が中止になりました。個人の意見ですが、文化会館を建設したとしても、会館は毎日使うほど有効活用ができるのか？ 全く疑問に思います。営業利益が上がるだろうか、年の必要経費が1億3千万円以上かかるとなると、3倍以上の実績が見込めなければ運営に困難が予想されます。そうした中、佐久市では人口増より人口減、少子化、高齢化、生活保護世帯、父子・母子家庭、1人世帯の増加等、道のりが厳しい社会状況の下で待ち受けています。</p>
<p>今後の予想では、耐用年数がとうに過ぎている施設、その他色々ですが、お金の上手な使い方をしていかなければ、税金等の無駄遣いに終わってしまいます。私の働いて得たお金、税で成り立っているのですから。</p>
<p>住民投票で私たちの意見を聞こうとしてくれたことは良かったと思います。財源があるからと使うのではなく、今あるものを活用することも大切だと思います。</p>
<p>800人ほどのホールであっても満席にできるものは、年に数回しかない。1,500人ほどの大ホールは全く不要。</p>
<p>今回、もっと賛成者がいるかと思ったが、反対者多数で本当に良かった。市民はちゃんと考えているんだと思った。今の施設を有効利用するのが大事だと思う。現にあるコスモホール、勤労者福祉センター、どの程度使用されているか明らかにしてほしい。反対多数、良かった！！</p>
<p>すでに市議会では建設の方向で準備を進めてきたせいか、今回の住民投票について身近であるべき市議会議員が遠く感じた。</p>
<p>今回の住民投票をやる必要があったのかどうか疑問です。</p>
<p>投票をインターネットでできないものか。投票の他にも、国勢調査やエコポイントの申請や、税金の申告もインターネットでやってほしい。(一部できるようになっているので、もっと広めてほしい)</p>
<p>今回に限っての住民投票は、広く市民の声を聞く最良の方法と思う。議会の存在価値云々との批判もあったが、「市民の選択は建設しない」との結果を出したので、あとは佐久市議会がきちんとしたかじ取りをするのが議会の責務。</p>
<p>建設をするなら今(合併特例債が利用できる)との感じでしたが、国政の不安定さや今の経済・景気の状態では、建設に対し元気が出なかったかもしれない。</p>
<p>文化会館は無しでいいです！ まずは病院と小学校・中学校を“充実”させるべきです。</p>
<p>いくら市長のマニフェストだからと言っても、住民投票に三千万円もかけるというのは賛成できなかった。市民の代表である市議会議員がいるのだから、その人たちとの会議で決めれば良かったと思う。</p>

<p>市長選においてもその後も、柳田市長は反対の意思を示していたのに、いざとなったら住民投票にした。その逃げの姿勢が気に入りません。もっともらしいことを言っている、言葉の端々に人間性が出ています。県議の時は丁寧で低かった腰も、今は傲慢さがすべてにおいて出ているように思っています。文化会館はあまりいらないのですが、市長への反発で賛成にしました。</p>
<p>①市長の住民の意思を聞く姿勢に大いに賛同する。常に住民の考えを問い、市政をする行政方針を歓迎する。</p> <p>②市会議員の自分勝手な考えに腹が立つ。自分達は住民により選ばれたくせに、誰一人反対する人はなく、ただ俺たちが造ったという名誉のみを追い、選挙民の意思を汲んでいない。あきれかえる。さすがに市長は偉い。頼りになる。</p>
<p>現在ある勤労者福祉センターは利用するのか壊すのか。2つ並んでいて両方維持していくのは、二重に資金がかかるのでは。</p>
<p>現在の建設予定地は、佐久市内でもNo1の商業施設密集地です。休日の交通量が多く、渋滞も発生します。そんなところに文化会館を建設したら、イベントがあるたびに道路が大渋滞となり、何かと支障をきたすと思います。そういう意味で私は反対票を投じました。</p> <p>音楽鑑賞等に頻繁に行ける経済状況になることを期待しています。</p>
<p>佐久市の人口が大幅に増えない限り、市長が代わっても文化会館は必要なし。(財政上も)</p>
<p>今回の文化会館建設については、反対が常識ある判断のように思われているが、賛成派は、単にムダづかいをするのではなく、大好きな音楽、演劇を身近で感じたいということも、行政には分かってほしいと思う。</p> <p>佐久市では数年間、若者がサザンオールスターズを佐久に招こうと活動したことがあった。場所や金銭的なことで失敗したけれど、あんな盛り上がり、(ホールができることで)もう一度あれば良いと思ったが、中止で残念です。</p>
<p>特異なケースではあるが、望ましい投票ではない。代議員や首長の責任転嫁を正当化させる手法は、民主政治を損なう。</p>
<p>文化会館の建設にあたり、再三にわたり議会で検討を尽くし、建設の方向づけが出来たにもかかわらず、考え方をくるくる変える議員の質に問題がある。もっと議会人として、自分たちの議決したことに責任とプライドを持って、今後の任務にあたっていただくことをお願いしたい。</p>
<p>市長は就任当初から、文化会館建設には否定的な意向を持っていた。計画をいかに潰すか画策したと思う。旧町村に投票の説明に行き、暗に反対投票するよう仕向けた感がある。議会も腰砕けとなったと思う。</p> <p>文化の進展を考えると、これでケリがついたとは思わない。次世代に引き継がれる問題だと考える。今回の投票で、佐久市民の文化に対する意識のレベルの低さに驚いた。フランス、韓国は国家予算の8%を文化関係に充てているのに、日本は1.2%とか。これは先日のテレビ報道でした。</p>
<p>市長は自分の意見を言うべきだ。</p> <p>景気もあまり良くないので、一時中断も必要と思う。近くにそこその施設もあるので、利用すれば良い。特に関係がないが、日本の総理大臣も国民投票になるのが夢ですね！</p>
<p>政策の中には、民意を問うことも大事だが、その時の為政者の決断によって行われ、当時反対意見が多かったが結果的に後になってみればそれで良かった、ということが結構ある。時のリーダーの決断が必要な時が多々あると思う。</p>
<p>(1)佐久市総合文化会館の住民投票で賛成が少なく、残念。</p> <p>(2)住民投票などしないで、文化会館を造ってしまえば良かった。</p> <p>(3)私が市長なら、文化会館を造ってしまう。</p>
<p>佐久市が総合文化会館の建設について住民投票を行ったことは、大いに評価したい。今後も重要な問題について、住民投票を行うようになったら良い。住民投票は民主主義の根本であると思う。市会議員は個人的な利益を考えて決める人がいるので、信頼できない場合がある。文化会館は建設できなくなって残念だったが、50%以上が投票したことに意味を感じる。</p> <p>佐久市は文化施設が少ないが、文化的な活動を増やして、少しでも文化程度の高い生活を送りたいと思っている。特に、佐久平駅近くの建設用地は佐久盆地のほぼ中央にあるので、佐久地方の住民にとって必要な施設を造るようにしていきたい。</p>
<p>町の大きさに合った施設があれば十分で、大きな集まりやコンサートを行うときは、大きな町の大きなホールに行くのも楽しみというものであると思う。</p> <p>7割を国が負担してくれるから、造らなくても7千万くらいしか違わないからとは言いが、国の金も元は我々が納めたものだし、7千万は決して少ない金額とは思わない。</p>

<p>佐久市議員の中には年配者が大勢いるが、考え方が古過ぎて佐久市の先を見ていないし、現状を把握していない。そうした人は辞めてもらいたい。組織だけ強くして、自分の考えで動いていない古い体質。総合文化会館はもし出来上がっても、これを続けていくのは大変です。これからは子供も少なく、老人の住民ばかりです。大きな箱物はお金がかかるばかりです。私の住んでいる部落も、62戸に70歳以上の人が60人います。子供が小学校に行っている家は数えるほどしかありませんので、老人ホームを造っていただいたほうが良いと思います。</p>
<p>文化会館建設に対し、市長のリーダーシップ、決断ある市政を行ってもらいたい。住民投票をすると、市会議員を選んだ意味が薄れてしまう。</p>
<p>全く関係のないことですが、高齢者が安心できる生活、高齢者だけでなく国民誰もが安心できる日本にはなるのでしょうか。どの政党なら信頼できるのかしら。。。。私たちが政治をもっと知り、意見を言えればいいのかしら。。。。佐久市民の1人が何かできるわけではないものね。失礼しました。</p>
<p>正直、投票後もどちらがよいのか迷いました。建設しなとなれば、早急に売却など後利用を考えていかなければならないと思います。建設となれば、まず維持に負担のかからない設計などのハード面、建設後は、維持管理の効率、稼働率を上げるための運営、営業など、市職員を運営に充てるのではなく、外部（民間）のプロをヘッドハンティングしてくるくらいの考えがなければ、どこにでもある従来通りの“箱物”で終わるでしょう。（うまくいけば、長野市内・県内ばかりでなく、群馬、埼玉からも新幹線で集客・利用できますね。）</p>
<p>今回の住民投票における投票率の低さに不満を感じる。</p>
<p>住民投票の結果は、反対が多いことに驚いた。市町村長は4期以上はやってはいけない。4期以上やった人は必ず失敗する。ワンマンになるからである。</p>
<p>人間は自然が生み出したものだから、自然に学ぶこと、遊ぶことが一番良い。その自然に手を加えるときは、充分気をつけなければならない。特に高速道路などは、便利ではあるが、最もルートを考えなければいけない。今、佐久で作っている清水への道は不要である。同様に会館のような箱物も、十分に自然が残って遊べる場所がなければ、不要な長物に過ぎない。文化とは小川のせせらぎ、一枚の木の葉の中にこそあるものである。</p>
<p>この調査票をどのような資料にするのか分かりませんが、いずれにしろ、選挙により財政を悪化させている（余分な出費）。任期を4年～6年間としたらどうだろうか。国民の時間と労費の無駄。各地域に区長その他諸々の役員がいるのにもかかわらず、行政がうまく機能していないのではないのでしょうか。</p>
<p>10万都市の佐久市で、総合文化会館は必要ないと思います（約100億の金を使う）。むしろ、子供教育、老人医療とか低所得者に温かい行政が欲しい。</p>
<p>老人の施設や学校などにお金を使ってもらいたい。1年に2億円以上かかる（経費）箱物はいらぬ。孫の代までの借金の残る建物はいらぬ。毎日利用するものを造ったほうが良い。</p>
<p>市議会の考え方が住民投票と違うという結果が出ましたが、市議会の見識不足であると思われ、反省すべきで勉強不足に思われます。市議会議員選挙も、必ずしも自分の意中の人に投票することはできず、腐れ縁で投票・応援をしなくてはなりませんので、今回の住民投票は良かったと思いました。これからの日本は、ギリギリでは生き残れないと思います。アリでなければ、世界と戦えないと思います。不安です。</p>
<p>住民投票は一見良い制度だが、議員の存在価値や市議選の意義が薄れると思います。</p>
<p>今回の住民投票については、さまざまな思いがあります。まず、文化会館建設の問題は、住民投票をしなくてはならない課題であったのか（住民投票の必要性）。昨年、現市長が、市民の長年の夢であった文化会館（そのために合併特例債を使って用地を取得し、設計の構想まで出来上がっていたの）を見直すという反対派の票を得て当選したのです。議会でも決まっていたのに、議会というものを無視した形です。その市長が、建設中止をはっきり宣言するならともかく、責任逃れのように住民投票などという形に持ち込んだ。パフォーマンスとしてはいいかもしれないが、何も決められない市長だと思う。</p> <p>この投票で、何千万という経費が使われている。反対派の人達は税金が上がるかもとか、箱物は維持が大変とか言う。現時点での判断ではなく、10年、20年先を見込んで判断してほしい。国へお金も返さなくてはならないし、中止にしても、建設するくらいの金額は必要である。そして、あの土地はどのように使うのだろうか。これで佐久は、文化会館などは何十年と建設されないであろう。残念である。東京圏内とも言われる佐久であるが、一歩後退してしまった感じである。</p> <p>この件で住民投票をしたのなら、佐久リサーチパークに建設するスポーツ公園？はどうなのか、など、全て住民投票をしてほしいくらいである。住民投票など、いかにも「民意です」と見られるが、もっと議会の尊重してほしい。市民がしっかり内容を理解しないままの住民投票は全く意味がなく、トップに立つ市長がうまく利用している手段のような気がする。市長も議会も情けなく思う。</p>

総合文化会館は必要ないと思います。子、孫に税の負担をかけさせたくはありません。
総合文化会館については約25年かけて検討し、建設の方向を打ち出す頃より反対ムードがありました。前市長が市民の声をどこまで聞いていたのかという不満と、ワンマン経営(市政)のあり方に問題があり、もっと市民の声を聞いていれば、ここまでならず済んだことと思う。
前の市長の三浦市長なら、住民投票をしなかったと思う。文化会館を建設するにはとても良い時期だったのに、本当に残念な結果です。この先ずっと、文化会館の建設はないと思う。
佐久市議会全体が賛成というのも、変な話だと思っています。議員と住民の意見の違いが、今回の住民投票で良く理解できました。
子供や孫たちに借金を残さないで、中止で良かったと思います。
色々な人達の話や市議員の話や市会議員の話を聞く中で思ったことだが、今後の文化・芸術を向上させるために、本当に年間2億円もの維持費がかかる文化会館が必要なのか!? 本当に子どもたちの教育向上になるのか!? 他のホール(コスモホール等)も、維持をするために現在も苦労があるとのこと。10万都市として大きいホールが無いから・・・等の意見は、市民にとっては行政側の見栄にしか思えない。
建設や維持費に使うお金があるのなら、もっと身近な問題解決のために利用すべきと考えました。
文化会館中止、本当に良かった。年に数回しか使用しない会館を建設することにより、将来大きな借金を残すことなく、良かった。
ねじれ現象というが、議員の頭の古さ、謙虚さが足りず、民意を知ろうとする努力も欠けているから。
今回の住民投票においては、反対が多数を占めている。それは、文化会館建設後の維持・管理面で費用がかかり、財政を圧迫させるという考え方が多かったようだ。
しかし、市民の文化レベルを高めることは必要である。市の財産を外部へPRし、観光客を多く呼び込むことで、市全体のレベルも上げることができるのではないかと。
総合文化会館は建設賛成に投票したので、残念な結果です。反対の方々は「お金がかかること」に反対したと思うのですが、佐久市の財政にとっての維持費はそれほど多くの金額でもないし、景気の不安定な今でなければ、賛成する人も多かったと思います。もう少し事前に学習していれば、結果も違ってきたのではと思っています。
公の借金の利息は、借金を作った公務員が払ってもらいたい。少なくとも、税金を充ててほしくない。
投票の結果、反対ということで建設中止となったが、駅前の広い土地の有効利用が、今後、佐久市の発展を踏まえ出来るのかという意味では、今回の結果に不満を感じることも事実である。今まで、合併前に中途半端な文化施設を造ったことも、私としては、使用目的があまりないように思う。(収容人数が中途半端で、それなりのことしかできない)
前市長の公約で文化会館の建設があり、柳田市長は自分では決めかねて住民投票を行ったようですが、確か市長も、建設は賛成だったと思います。
長期にわたって建設はされるものと思われて、広大な手付かずの土地を横目に過ぎてきましたが、今後の利用の仕方にも不安を感じていますし、結局増税ということに変わりはないことだけは、はっきり分かりました。
総合文化会館が出来るといいと思います。松本、長野に行かなくても、多方面から佐久に集まればと思います。その反面、小学校、焼場、病院、色々お金のかかることが目の前にあり、税金が上がらないと言うのが、それが一番心配になります。安心して生活できる、そんな日々が欲しいです。
もっともっと、市民の声をよく聞いてほしい。市民のための佐久市になっていただきたい。色々な問題を一つ一つ解決して、行っていただきたい。
投票率をもって有効無効を決めるということは、「住民投票」の制度の否定(ボイコット)と、投票の権利の放棄が区別できない。議会制の議員選挙とは異なる。
佐久総合文化会館が出来れば、色々なイベントが開かれるだろうし、芸術の面も盛んになるだろうし、とても良いと思いますが、佐久市には借金が995億円もあるので、これ以上借金を増やしてほしくないです。佐久市議会も国の行政も、まず借金を減らすことを考えてほしい。このまま借金が増え続ければ大変なことになると思うが、政治家の人にはその危機感が全くないように感じます。もっと市民が声を上げなければと思います。
住民投票の結果は残念に思います。
今回のホールの設計は一時代前のもので、軽井沢町の大賀ホールの様式を取り入れてほしかった。
住民投票や総合文化会館の問題等に対して、このような調査を実施して市民の考えや意識を確認することはとても良いことだと思います。
市長には、もっと市民の声や願いに耳を傾けて、今やるべきこと、未来の佐久のためにやらなければいけないことに気付いてほしいものです・・・。

<p>新幹線も通り、10万人都市となって、1,000人規模で収容できる文化施設が無いのは・・・。 運動施設は進んでいるそうだが、今の子どもたちでなく、これから生まれてくる子どもたちにもっと投資しても良いのでは。</p>
<p>今回、7割の方が反対ということで、いかに議会との考えのずれがあるか、びっくりしています。 こんなに民意とかけ離れたことが議会で決められていくということに、不安を感じています。</p>
<p>全ての決定項目に対して住民投票は必要と思われます！ 税金を安くしてほしいです！！</p>
<p>投票実施に3400万もかかったのに、投票に行かなかった人は何を基準にしたか。 以前からコスモホールは維持費が莫大だったのを知っているので、合併してなかったら内心は本当に迷ったかも！！</p>
<p>現在、老人施設等が不足です。収入(年金・賃金)も減少している。安心できる箱物が必要だと思ふ。</p>
<p>今回の住民投票は、私自身にとってはとても有意義な投票であった。自分たちの投票が直接、市政の判断につながる案件だったので、他の投票と違い事前に資料等を読み、自分の意見をまとめた。ただ、賛成・反対のみだったので、さらに奥へ踏み込み、反対の場合ほどの分野、何に対してその市費をつぎ込むべきか、の点についても市民の意見を聞けば、もっと市民の本投票に関する興味・関心は高まったと思います。これからも重要案件については、積極的に住民投票を行ってほしい。</p>
<p>市議会議員に、時代に遅れた考え方の人が多いことに失望した。</p>
<p>1つの政党の中でも、(例えば共産党の中でも)賛成・反対と分かれていたとか。また、結果から考えると、議会は何をしていたのか・・・。本当に市民の意見など、反映していなかったとしか思えない。市議員もいったい何なんだろう？ 全く、市民の意見など、無視した計画であったとしか思えない。</p>
<p>今回の住民投票に多額の費用がかかったと聞きます。もっと安上がりの方があればと思います。</p>
<p>小さい市町村の合併した市だから、大きな物を造っても、これからは人口が減るばかりであり利用できないと思います。</p>
<p>今回の住民投票は非常に良いと思う。文化施設も大事だけれど、福祉、教育にもっと充ててもらいたい。</p>
<p>本調査が県内の大学からならともかく、東京の大学によるものであったことは少々驚きました。もっとも、日本ではまだ、住民投票の機会が少ないためかもしれません。</p>
<p>さて、投票で中止となりましたが、問題は今後にあると思います。30億円を超える借金の一括返済はどうするのでしょうか？ 増税？ 議員や市職員の給与をカット？ 結果中止もあり得たのだから、行政はある程度の道筋を早期に示してもよくないのだろうか。また、用地は市が所有を続けるようですが、更地にし続けるより、売却も考えたほうが良いのではないのでしょうか。時間をかけて議論をして決めるようですが、国も地方ものんびりしているという感想です。ご苦労さまでした。</p>
<p>文化会館建設の問題は、市長および市議会で結論を出すべきもので、住民投票で結論を出すべき事案ではない。地方の文化をどのような形で形成・発展させるかは、その地方の政治家が長期的な観点から判断し、市民に示すべきものである。前市長は、いわゆる“箱物”を佐久市発展の中心に置き進めてきたが、それらは今、市財政の重荷にはなっていないにもかかわらず、世間一般の風潮の中で箱物は金食い虫だ、との論調がはびこり今回の結果になったものと思う。現市長の若さに期待したが、当面佐久市の成長・発展が低迷する一因も、その経験と決断力のない“若さ”になるような予感がする。</p>
<p>政治は主体性を持って行ってください。民意を問うことは、政治に自信がないことと思われる。何のために選挙をしたのか分からない。(民意を問うなら、税金ゼロの社会を望みます。)</p>
<p>これまでは国・市などで、いつの間にか決まっていることが、今回のように住民投票など行ってもらうことによって、みんなが参加しているという実感が持てます。住民投票は大切なことだと思うので、色々なことにも使って、住民一人一人が関心を持てる市に作り変えてほしいです。</p>
<p>文化会館の建設に関する賛成・反対は、市長選の公約でやるべき。柳田市長は意思を示さなかった。住民投票は、余計な費用を浪費したことになる。政治家は自分の意思をはっきり示すべきである。住民投票は市民に深い傷跡を残し、議会の存在の問題もあり、当分、佐久市はぎくしゃくし、市政は停滞する。市民参加型行政は、大きな事業(多額な費用がかかる)を計画したとき、反対者の意見が強くなる。今回の住民投票は、賛成派の将来に向けたビジョンを具体的に示すことができず、広報を含め反対派のチラシは金額のことばかり強く表面へ出されていたので、市民の反対が増加したと思う。</p>
<p>今年で75歳になる。多くの役職を退任して、余生を芸術・文化方面へシフトしようと思っていた矢先の出来事。残念である。</p>
<p>臼田と合併して佐久市にコスモホールがあり、勤労者福祉センターもできました。今のところ、それで十分な文化活動ができると思います。</p>

<p>今回、住民投票の結果は別にして、前市長のように国とのパイプを利用して、言葉は悪いがゴリ押しで文化会館建設が決められるという事態にならずに、54%の意見ではあるが住民の意思を示す機会を得て、数十億の事業の添削に参加できたように思う。</p> <p>これほどの事業費を使うほど、佐久市民の文化振興に対する意識のレベルは高くない。また、施設管理、運営する職員の危機管理能力も未熟すぎる。以上、私見です。</p>
<p>文化会館には最適であったと思われる、佐久市の一等地である土地の今後の利用方法が大いに心配である。乱開発にならないよう、また、利権につながらないよう、廃止決定後の市政の動きに関心を持ち続けたい。できれば住民投票前に、廃止後のビジョンも提案し、投票の判断材料にさせていただきたかった。</p>
<p>佐久市は文化的には遅れた地域と思う。魅力あるまちづくりを進めなければ、過疎化あるのみ。</p>
<p>民主党に替わり、自民党、共産党になることだってないわけじゃない。また建設する時期が来ると思う。会館を建てる目的でお金をため、その時に何か国の補助があったら、その時でいいと思う。人口的に見ても、まだ早いと感じます。</p>
<p>総合文化会館を建設することにより文化の向上とか言われるが、建設費55億400万円～63億7700万円という莫大な資金。加えて、年間運営費1億5900万～2億2500万円を使うより、今後ますます増加する老人のための養老施設等を造りたいものである。(養老施設は市民全員がこれから先利用するものである。)</p>
<p>佐久市に一つくらい、大きな会館があれば良いなあと思いますが、建設費、維持費がかかるうえ、コスモホール、勤労者福祉センター等の利用が少なくなるような気がします。そちらの維持費も考えると、ムダのような・・・。</p>
<p>何十年後に老朽化したときに、まとめて大きな会館を造る時は賛成します。</p>
<p>佐久市総合文化会館については、住民投票をしなければ建設の方向だったが、総合文化会館建設を投票にかけるといことは、かかるお金の額にしても疑問に思う。</p>
<p>文化会館は全国で閉館や休館が続いている。佐久市は今後3年間、各地区の保育園、学校の新築・改築、耐震工事、火葬場、ゴミ焼却場の建設、特別養護老人ホームなど、生活に密着した事業が目白押しです。事業の財源に影響が出てきます。</p>
<p>◎賛成派の市議員に探究心が欠けている。</p>
<p>選挙での投票は国民の権利であり、義務でもあると思います。しかし、国会の様子を見ていると総理の交代ばかりで、“選挙をすること”“内閣を解散してまた編成すること”がお仕事のようにしか見えず、選挙のときの立候補者の演説はすべて、その場だけの言葉にしか聞こえず、全く誰にも一票を投じる気になりません。むしろ、誰かを選んで適当な一票を投じるほうが、無責任にさえ感じます。ですから、投票していません。</p>
<p>議会の古い体質、考え方が市民の感覚とズレている結果、今回の結論となった。</p> <p>文化・芸術を声高に言う前に、それを鑑賞する側のマナー、モラルを身に付けるべきだと思う。長野県内で芸術等を鑑賞しているが、マナーが都市(東京等)と違って非常に悪いと感じている。(演奏中であっても出入りする。幼児預かりがあるにもかかわらず会場に入れ騒がせている等)文化・芸術以前の問題である。都市部で芸術を鑑賞し、マナー・モラルを勉強したほうが良いと考える。</p>
<p>もし文化会館が完成したとしても、どのくらいの市民が利用するのか少し気がかりです。</p>
<p>佐久市は豊かなのだと思えるものがあってほしいのが本音です。でも、高齢ゆえ毎日の生活だけでいっぱいです。</p>
<p>文化会館は造ったほうが良かったと思う。それなりに何十年も計画され、基金もあったのに、ムダになった。住民投票も税金の無駄遣い。投票前に結果は目に見えていたと思う。立地条件も良く集客が見込めるのに、お金を生むことを考えずに、マイナスを出すことばかり考えるのはどうかと思う。</p>
<p>昔は、芸能人という言葉はなかった。差別されていて、河原乞食と言われていた。河原を使うのは勝手だし、こだまの音響効果もあった。立体音響に近い。</p> <p>若いロック歌手は、東京ドームを満席にする。ある意味では、観客は叫んでいるし、マイケル・ジャクソンや矢沢永吉なんかでも、ほとんど聞きとれないのであるが、しかし、5万人も集まっている。ビートルズや山口百恵などの日本武道館ライブも、観客の叫びや笑い、おしゃべりでほとんど聞きとれない。マナーも何もない。しかし今は、ロックや歌謡曲やダンスの時代でもあるし、それが芸術なのかもしれない。</p> <p>ロイヤルボックス付の本格的な箱物を造るならば、20年、30年先を考えて世界的な設計者をつけて、豪華に、しかも地元にくさんのアーティストを住まわせて文化都市にすることも、老後を楽しむにはよい。</p>
<p>まずは残念としか言えませんが、佐久市の発展のために必ず5年、10年後に、あの時建設されたらよかったと思うことがあるのではないかと、非常に残念で仕方ありません。</p>

<p>今回は反対の方が多くほっとしました。若い人たちは総合文化会館等はあったほうが良いと思う方は多いような気もしますが、これからの生活で、高い入場料を払って見に行く方々は、大勢はいるかどうか？と考えた時、無駄な会館になりはしないかと思っていたからです。でも一個人が反対しても、造ると決まってしまうれば仕方ないとも思われ、選挙にはつつい行けなかった自分が恥ずかしいです。より良い未来が来てほしいと心から思っています。これからは関心を持って生きていきたいです。(前向きに・・・)ここまで御苦労なさっている方々に感謝です。ありがとうございました。</p>
<p>今回の投票に関しましては、とても迷いました。佐久市は将来的に人口が増加し、発展していくなら文化会館もあって良いような気がしますが、反対だとしたら、無駄な「はこもの」になってしまうような気がするからです。 また、中止した場合の市の負担などの説明ももっとあれば良かった(私が知らないだけ・・・)と思いました。</p>
<p>今回は、財政不安(長い目で見た場合)を理由に反対をしましたが、文化交流は必要だと思いますので、お金のあまりかからない方法で行うべきだと考えます。 佐久市には、文化会館より必要性が高い案件があると思います。特に教育、生活は重要だと思います。(岩村田小学校etc)</p>
<p>国・地方ともに、国民・市民等に選ばれた政治家が選挙前の公約を順守しないことが、行政を乱す元凶となっているのではないのかと思われる。 また、将来天下り先となる箱物行政にしがみつく地方官僚・地方公務員の姿が見え隠れしてくる。</p>
<p>・自分の周りにも同意見の人が何人かいましたが、「住民投票自体がおかしい」と思います。市長と議会で決めれば良いことで、そのために市長・市議会議員を選挙で決めているのですから。どちらに転んでも苦情が出るから住民投票にした。ただの責任逃れだと思う。 ・住民投票にかかった費用こそムダ。 ・市内に一部移転する総合病院(JA)の建設費の一部を市が負担するらしく、それこそ本末転倒ではないか。(私立の総合病院寄りに移転する)</p>
<p>私はあまり外に出ることがありませんが、今回のことについて、もっとみんなが興味を持つようにしたらと思います。例えば、お年寄りなどはよく分からない方が多いですし、誰にも理解できるように説明してほしいと思います。 すべてにおいて言えることは、市役所は仕事だけで、人の気持ちになれない人ばかりです。世の中、頭がいい人だけではありません。</p>
<p>これからの人達に希望や夢が必要だと思いますが、10年先、20年先に人口がどのくらい減ってしまうのか。文化会館を利用する人たちがいるのか。私が住む東地区では、来年度小学生になる子供がわずかです。限界集落という言葉があるそうですが、そのようになりつつあります。生活は貧しかったけど心は豊かだった昔が懐かしいです。家族皆で食卓を囲む時が来ることを望みます。</p>
<p>今回の住民投票をしてもらい、大変良かった。そしてまた、今回の調査をもらいうれしく思いました。高校生、中学・小学生は、もし市にお金があれば、その土地に運動場が欲しい。年配の方からは、老人介護施設が欲しいなという意見をたくさん聞いています。選挙後の声を聴いてください。ありがとうございました。</p>
<p>住民投票には行くつもりではいましたが、行けませんでした。意思是初めから決まっていた、反対で投票するつもりでしたが、結果を見てほっとしました。建設よりほかに、やることあると思います。</p>
<p>今回の住民投票の結果、市長のやり方には納得いかなかった。自分が賛成派だったということだけではなく。反対派の意見を聞いても、あまりにも中身を知らない人が多かったこと。ただ50%を得たいというだけの考え方。反対意見について、医療、福祉と唱えて、年寄り層の票を集めようとしたり。お金の出所は別なのに。特に年寄りの集まりなんかで、医療、福祉に力を入れたい人は反対に〇を付けてくださいって説明したりしていたこと。市長のやり方には納得できません。この結果で、建設しないのであればしようがないことですが。 あまりの説明不足、若い人たちの興味のなさ、口車に乗せられた老人たち。この投票は、本当に意味があったのか疑問に思う。</p>
<p>柳田市長は若いのに、信用のできる人物とっております。</p>
<p>1. 国・市や家庭は、健全な財政を土台として成り立つと考えます。福祉、教育等満足しない今日、反対せざるを得ません。 2. 交通の便が良くなり、東京、名古屋等日帰りができます。そのような文化に接したければ、大都市の設備におじゃまをすれば良いと思います。</p>
<p>近所の方とよく話をしても、皆だいたい同じような意見だった。自分の中では、ほぼみんな反対意見だったような気がする。</p>

<p>今は不景気なので、文化会館の建設も無理かと思うけど、本当は残念な結果だと思っている。文化がないがしろにされて、国民全体に心のゆとりがないのでさびしいと思っている。本来なら、土地まで用意されているのだから、もう少し何とかならないものかと思っている。投票などしなくても、今までに無駄な施設を造ったりしなければ、投票など無用ではなかったか、と思うのである。</p>
<p>今回の選挙結果は、佐久市にとっては大きなマイナスとなりました。反対に投票された方々のほとんどは、箱物と言われる会館やセンターの建設にはやみくもに反対という、昨今の世間の流れの中で決められたように思われます。残念です。佐久市は「合併特例債」の利用で、今回建設しなければ市独自では今後、末代、1,000人規模の会館建設などできるはずはありません。残念でした。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・行政(市長)と議会の対立。どちらが市民の声を聞いているか考えさせられる。 ・議会は市民の現況を分かっている。 ・議員は個人の利益誘導に走りやすい。 <p>以上をもって、今回の住民投票は良かったと思う。</p>
<p>確かに設問の中で、文化・芸術に関心があるかと聞かれれば、ズバリあまりない！と思います。賛成に投票をしたが、コンサートなど行ったことがない人が、チャンスがあれば行ってみたいという気持ちになるかもしれないですね。造らなくなった今、あの土地をどうしましょうか？ 佐久市では、ゴミ焼却炉、火葬場など造らなければいけないものがたくさんあります。そっちが先ですね！</p>
<p>佐久総合病院再構築等、早急に進めるべき事業を最優先すべきかと思えます。</p>
<p>国政も地方政治も、全てが国民の血税で運営されている。そのことを忘れてはならない。肩書きだけのよな「ハコモノ」を造り捨てるようなことは、あってはならないことです。底辺で苦しむ人たちの本当の姿を見てほしい。</p> <p>昔からの慣習だからと、馴れ合い的なことはやめてほしい。仕方のないことかもしれませんが、政治家、役人になられる方々は一律にエリートです。そういう方たちには、庶民の気持ちは理解しがたいかもしれませんが、じっくりと「本当」を見てほしいと切に願います。</p>
<p>文化会館建設中止にともない、土地の購入代金の返済が、これからの市政に悪い方向に向かう恐れがあります。現に運動公園を造っておりますが、マレット場はできあがりでしたが、これから作る陸上競技場、野球場が当初の予定より大きく縮小されてきています。全てに影響することでしょう。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1) アンケートの目的や必要性に関しては賛同できます！ 2) 芸術に対しては、県内の展示は通います。シャガール展など、軽井沢へ出向くより、とは思いますが…。松本、長野、東京へ行かなくとも。 3) 答えた後で、「自分は佐久市に対して」知るべき事柄が少ないなあと反省してます。
<p>総合文化会館の問題は、自分にとっての必然性があるかないかで関心は大きく変わる。建てる、建てないの議論ではなく、どのように使われるかが重要となるが、議論の的はお金がどのように使われるか。いくら使われるかに集中していて、肝心な情報はなかったように思う。</p> <p>今回私は投票に参加しなかったが、内容如何によっては、最悪の選択をしたかもしれない。</p>
<p>時代は変わりつつあるのかもしれないと思います。一昔前のように、何でも市長さんや市、議会にお任せという時代ではなくなってきたように感じます(というよりは、自分たちの声を届けよう、反映させようという原点に戻りつつあるというか…)。今回の住民投票成立は、その一つの表れだったのではないのでしょうか。</p> <p>「すべてを住民投票で」というのは、とてもやりきれませんが、今回は市政、自分たちの暮らしについて考える良い機会になったような気がします。</p>
<p>佐久市は前市長によって医療、福祉ともに前進した都市でした。その中で、この地に文化会館をと考え進めてきたものを、今回ぶち壊されてしまいました。新しい市長は市政の方向性をどう考えているのか、まったく理解ができません。</p>
<p>特に熱心に政治や町のことに関心があるほうではありません。恥ずかしいことに…。しかし、市長選とか、文化会館とか、身近なことでと、近所の仲間や友人とは話題になります。</p> <p>文化会館、これほど反対が多いとは…。驚きでした。夫が区長をしているので、もっと関心を持ったり、協力することが多いはずですが、商売があるので、逆に主人任せというか…。ほとんど市のことは知らないで、恥ずかしいくらいです。</p>

私は佐久市に住み始めて9年余りで、過去の経緯については詳しく知りませんが、地元の人達から、総合文化会館の建設については25年来の運動と聞いております。

前市長の時代には、土地も取得し合併特例債も利用できるということで、市から発行される広報には完成予想図も掲載されておりましたので、今回の投票結果で中止になったということは、非常に残念に思っております。

お金の面ばかりが問題視されておりますが、現代のこの閉塞感の中で唯一、文化・芸術によって人々の心に夢や希望が生まれるのではないのでしょうか。住民投票は絶対にすべきではなかったと思っています。

住民投票にお金をかけるなんて、議会がいらなくなるし、今後何でも住民投票になるのでは。すべて市長の、県民への知名度UPだけだったような気がする。

今の国会にはうんざりです。どうして、足の引っ張り合いばかりしているのか？ 自分たちのことばかりで、国民のことを考えていないように思える。この不況を、民主党と自民党が手を取り合って、助け合って国政を動かしていけないのだろうか？ 国民が政治から離れてしまうのも納得がいく！！

過去に政治家が決めて、既成事実として進めてきたことが時代にそぐわなくなり、住民がその意思を示す方法を獲得、実行できたことは大きな成果だと考えます。

市長の御身大切主義で、市長に振り回されたと思う。くやしい。住民投票は必要なかった。住民の代表の市議会議員が議会で決めてほしかった。職員の労苦と時間と経費の無駄だった。合併特例債を使うべきだった。

合併時には、町村ではホールを造ってあったので、町村部の反対が多かったと思う。また、反対派は金銭面で反対するのが簡単であるが、賛成派は文化を皆に納得できるように語るのが難しい。これからの若い人たちのためにも、心の豊かさを養ってもらいたいので、文化の中心的な役割を持つ会館は大切だ。これからも闘うべきだと思う。

今回の「総合文化会館の是非」の住民投票には、手続き的に疑問を感じる。この総合文化会館は市議会で建設が認められ、建設に向け進行していた経緯がある。住民投票は市議会でも可決したが、その前の「総合文化会館の建設可決」に対しての結論(中止、是非)が何も決定されないまま、住民投票が可決された。はっきりと、市議会で前の議決を取り消す決議が必要であったのではないか。

今回の市民に問うという方法がとても良いと思います。いつも箱物等が出来たりするときに、なぜあれは必要なんだろうと周りの人たちと話をします。

市民と議会の意見の違いがあると思うので、大きな物を造ったりするときは、その地域に住む住民に必要なのかどうかを問うようになれば、もっと大切な税金も有効に使われるのではないかと思います。

若い市長さん、柳田さんになり、とても良い方へ進んでいくことを望んでいますし、それが期待できる方だと思っているので、これからの佐久市が楽しみです。

建設予定地を取得する前に、住民の賛否を問うようにしてほしいです。

55%の市民の投票の結果で、あれはしょうがない。前々から、新幹線駅の近くで良好なところに計画してたのに・・・。

軽井沢(大賀ホール)とか、東部町にあるホールは、車の運転できない老人の私は遠くて行けない。大ホールでなくても、中ホールで良いから造ってほしかった。残念・・・。未来ある若者たちのためにも。

総合文化会館をめぐる住民投票について、結果はやる前から出ていたと思う。税金がもったいない。なぜなら、投票に行く人は反対か賛成の気持ち強い人であり、どちらでもいいや、と思う人は行かないと思う。つまり、半分の人ほどどちらでも、と考えている。市長が代わればまた、文化会館を建てると言い出すのでは？ 国と同じ・・・。

今回、初めて住民投票をしたが、また機会があれば参加してみたい。

中止になってよかった。

金の卵と言われた時に生まれたので、10年早く文化会館が出来ていれば良かったと思う。

文化発展は、大変重要とは思いますが。経済問題がかなり厳しい現況では、先々への負担はいかかなものか？ 862兆円の国債、遊休地(田畑、山林、工場等の空き物件)の再活用を最速に実施することが急務ではないか。佐久地方のみならず、全国的に。今現在あるものの有効活用を希望する。

ただ、総合文化会館は絶対に建設を強く望む。ソーラー設備は当然ですし、風力・雨水もすべて活用するスタイルで。夢かもしれないが、ハーバードから講演に来館していただけるような態勢になれば、ポジティブに希望が湧くのでは・・・。

<p>市民の意見は、私の周りの人たち10人いれば、皆それぞれ違う思いがあって、それぞれ利害もあって、なかなか一つにまとめることは難しいと思います。</p> <p>でも、今のこの時・時代では、むやみにお金をかけて大きな箱物を造っても…と考える。もっと、文化的な生活を…気持ちを高く、ゆとりを持って、なんて考えたいが、そんな余裕すらない人々が多い中、もっと深く見てもらいたい。あるに越したことはないけど、現実には厳しいと感じています。</p> <p>だから今回、市長が住民投票を決めたことは良かったと思います。これ以上、経済で苦しみたいはありません。</p>
<p>文化・スポーツ、みんな松本に持っていかれてしまいました。松本の住民も当初は金銭的に負担があったと思うが、中学・高校の吹奏楽もすべて松本でした。結果、祖父や祖母までは、そのたび聴いてもらえませんでした。望む気持ちが違うのか、レベルも違ってしまい、兄もサッカーをしてましたが、アルウィンはこちらの聖地と言ってました。その地に立った時、とても嬉しそうでしたが、それも松本でした。</p> <p>これからの子供たちが生きる勇気を育てるため、佐久平駅横に皆が集まる施設を望みます。農協祭や火災訓練のための土地にしてしまうのでしょうか？</p>
<p>住民投票の後で、色々な問題があることを耳にしました。投票前に、そういった細かいことまで教えていただけたらと思った。今回、反対が多く取りやめになりましたが、そうなった場合に補助金の返済等もあったようですが、そういったことは表に出てなくて、もう少し皆に、こうなったらどうなるという詳しい説明が欲しかった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・総合文化会館を建てるに当たり、署名が50万人集まったと当初発表があったが、佐久市民10万人しかないのに他から40万人の署名なんてあるわけない。 ・前市長の息のかかった人たちが進めていたことなので、住民投票以外やめる方法がなかったと思う。ほとんどの市民は、文化会館の必要性を感じていない。 ・国政についても調査したほうがよい。今の国会は、お互いに足を引っ張り合うだけで、どの政党がトップに立っても政治は変わらない。少なくとも総理大臣は、10年くらい継続したほうがよい。ころころ変わるの、北方領土も返ってこない。
<p>10万都市に大きな総合文化会館は必要ない。建設しても、維持・管理が大変である。経済情勢が悪いので、将来のことまで考えられない。文化＝豊かさ。目先のことを考える。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化の大切さは大いに認識しているつもりですが、「あるには越したことはない」「絶対に必要」とは思えません。 2. 投票率が50%超となったのは、反対の人が多く足を運んだことの結果だと思います。その意味では、「投票」は賛成派には痛手となったと思います。それが民意で、健全だったと思います。 3. 自分も、賛否には最後まで迷った1人です。
<p>このような形で文化会館の建設の是非を問うということに憤りを感じ、目を増すごとに強くなります。市長が建設したくないという気があり、議会無視の行為で、自分の責任を「住民の意見だから」とする責任転嫁です。任期中は仕方ありませんが、二期目はもっと先見の明がある人が市長になってほしいと思っています。こんなことで住民投票はすべきではありません。</p> <p>今建設しなければ、もう佐久市には建たないと思うと残念で残念で仕方ありません。小学生、中高生が文化に触れることができない。悲しいことです。財政的には、前市長がちゃんとした基盤を作っています。</p>
<p>息子宛てにいただいたアンケートですが、住民票はこちらにあり、金沢に住んでいるため帰ることもできず、投票には行けませんでした。</p> <p>息子にTELをして設問を読み、答えに○印をさせていただきましたが、息子にとってもこのアンケートをいただき、今回の住民投票や佐久市について考えるきっかけになったようです。</p>
<p>市長は住民投票をしたことにより責任回避したので、即辞任すべき。</p>
<p>「住民投票」により直接民意を問うことは、一つの重要施策を決める手法としてありうると思いますが、今回のように、理事者側が明確な意思を示さずに賛否を問うというのはいかかなものかだと思います。それは「文化会館建設の賛否」が佐久市の財政の将来にどう影響を及ぼすのか、という点に判断の中心が行ってしまい、本来論議すべき「文化のあり方」が後景に追いやられてしまったのではないかと思います。結局、市民は「文化会館が出来れば税金が上がる。」とか、「財政が破たんし、夕張になる。」といった根拠のない情報をもとに判断することになったのではないのでしょうか。</p>
<p>今回の住民投票は、本当に良かったと思います。やはりみんなの意見を聞いて、その上で納得ができると思います。</p>

<p>現市長は中央大学の後輩であることから、長野県議の時代から永いこと全面支援の方向でやってきたが、今回の住民投票は民主的手段・方法とは言え、市長自らの無力を丸ごとさらけ出した結果であり、失望の極みである。前市長や関係者のひたむきな努力をすべて水泡に帰してしまった暴挙である。</p>
<p>今回、文化会館建設は、となりに県の施設があるので反対が多かったようです。ですが、ホールを使用する側としてはかなり規模が小さく、不便を感じています。 大きな会館などを建設するにあたり、県と市と連携して運営はどちらかに委託するなどして、もっと利用価値のある会館を造ってほしかったと思います。</p>
<p>柳田清二さんが市長選に出るときは、すぐにでも文化会館が出来るような話をしましたが、選挙が終わったら何も話も出ない。選挙に出るための話だったのでしょうか。私は、若い人たちのためにも文化会館は造ってほしかったです。</p>
<p>昨年四月に他県から佐久市へ転入し、首都圏の勤務地(官庁)に新幹線通勤している状況などもあり、今回の住民投票は第三者的なスタンスを選択した。 文化会館建設を期待していた方々には残念な結果となったが、住民を代表する議会や議員に政策決定のすべてが委ねられていない事実が明らかになり、民主主義の本質的な課題を浮き彫りにしたものと認識している。 財政状況の厳しい市町村にとっては、特例債や補助金に依存せざるを得ない現実はあるが、政治的力学や将来的な行政ニーズの変化等を十分に検証したうえで、真に必要なものは徹底した情報公開で進めるべきである。</p>
<p>今回の投票にあたっての説明の期間が短く、また浸透しにくかったのではないかと思います。投票日程を知らない人もいました。噂などもありましたが、情報が足りなかった気がします。</p>
<p>今回の住民投票は、市民の意見も反映されて良いかもしれませんが、それまでの議論は全く知りませんでした(家族の話くらいでしか・・・)。市の広報などであったでしょうが、よく知りませんでした。生活時間がまちまちな現代では、情報発信する側も従来通りでは、若い人たちには届かないと思います。投票も住民票のあるところだけでしか出来ないのではなく、インターネットで投票できる仕組みも早く作ってほしいです。このようなアンケートも良いと思います。 佐久市は新幹線も高速道路もあり、便は良いと思いますが、「しかけ」もないし、「目玉」もないです。どうせ使うお金(税金)なら上手に使ってほしいです。軽井沢には人が来るが佐久市内には来ないし、コンサートもない。若い人が「帰りたい!」と思う佐久市になるように願います。 (本人が佐久市不在のため、スカイプを使って家族が代筆しました。アンケートだってネットでできれば・・・と思ってしまいました。)</p>
<p>住民投票をする意味が分からない。何のために市会議員がいるのか。今回のように住民投票で決めるのならば、市会議員は不要になるのではないのでしょうか。 投票に行った方の話を聞くと、内容を解らないで反対に投票をしている人が多いと思った。市の広報を見ても、解りにくい説明だった。市長の投票50%以上にするためのメールを見せてもらったが、腹の立つ文章だった。 佐久市の文化の発展はなくなったと思う。これからの佐久市を担う若い人たちに、投票する権利を与えるべきだと思う。18歳以上など。</p>
<p>大きなホールが出来れば有名人も見られると思っていたけど、残念に思います。私たちは年ですから、長野までは見に行けませんから、本当に残念。</p>
<p>全国で住民無視、不必要(分不相応)と思われる箱物行政、おごり高ぶった長や議員などによる利権がらみの行政が繰り返される。結果、財政圧迫、果てに財政破たん、平成大不況の中、こんな余計なものを造っている余裕はないと思う。</p>
<p>文化会館はいつも市民が使えるわけではないので、市民のためになるものを造ってほしい。例えば、エコー御代田のような施設とか。佐久市は冬場寒いので、青山(東京)にある子供のための室内遊び場とか。立派な図書館とか。とにかく、市民の役に立つものを望んでいます。</p>
<p>・前市長時にあまり関心がない状態で議会にて決定していた建設の問題について、市長交代を機に、市民が市政に深く関わることを実感できたと思う。 ・国政に関しても、このような機会があればと思うような件もかなりあると思う。</p>
<p>今回、初めは投票について、文化会館を利用するような人たちは絶対賛成だし、行動的な人達が多いが、それに比べ、必要ないと思う人は基本的に行動が鈍いかな?と思い、この住民投票は賛成多数で決着がついてしまうのかと懸念していたので、ちょっとホッとしています。投票率も高く、それだけ関心があったのでしょうか。 言われているように箱物ではなく、もっと精神面や内面的な財産を作る努力をしてほしいものです。今回に関しては、住民投票は成功だったと思います。</p>

<p>柳田新市長は、市の未来より票稼ぎしか考えていないと思われる。佐久総合病院の移転問題も、結局は選出母体(?)の票が大切だからで、…今更仕方ない。…市長の特権だからだと思う。 国政だって、自民から民主に移っても、結局大したことなくった。</p>
<p>総合文化会館は、確かに地域向上のために良いことだが、隣接する勤労者福祉センターもあるし、箱物が増えるばかり。中途半端に建てるべきではない。建設するとしたら大規模のものと考えてるが、国が負担してくれるにしろ、税金で苦しんでいる庶民もいるので、ムダに税金を使ってほしくないという気持ちです。 佐久市発展の種地であるあの土地をどう活用するかといった視点から議論してほしい。 不況で給料が減るから節約しましょう、であれば誰でも考えは同じ。リーダーはいらない。不況下だからこそ、強力なリーダーシップで戦略的に市政を運営してほしい。 やはり、こういった形の首長提案型住民投票には納得できない。</p>
<p>高速交通網が発達し、他のホールへ短時間で行けるようになった。建設後の維持費等を考えると、実施しなくてよかったと思われる。</p>
<p>不景気の今、お金のかかる総合文化会館の建設は、賛成を得られないのは分かっていた。 選挙にはお金がかかり、リーダー(市長)の判断で決められなかったのか？ 住民投票で否決されたことにより、建設の芽を摘んでしまったように思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・重要な案件については、住民投票という方法で市民の意思を確認することは良い。 ・新市長の積極的な情報公開、聞く耳を持つこと、市政に市民の参画を求めるなど歓迎である。
<p>誰が建設したいのか、建設の趣旨の説明がない。市長はもともと建設に反対だったのだから、最初から結果は分かっていた。住民投票は無駄だった。</p>
<p>文化会館建設については、25年以上の要望のもとお願いしてきた立場として、大変残念な結果となりました。本来なら前市長の時代に完成してよかったのに、優先順位のせいとか、このような冷え切った時になり、改めて造るとか造らないとかは、問題外とっております。 また、社会・世界の状況が冷え切っておりますが、文化の発展は絆の基本です。</p>
<p>住民投票を行ったことが本当に良かったのか、疑問を感じます。反対意見という言葉が多く聞かれたようです。住民投票を行ったことで、また多くの税金が使われ(市の職員にも選挙手当が支払われ)、もっと他にお金の使い道を考えてほしいと思いました。 佐久市が合併し、最近特に感じることで、子供たちがサークル等で体育館等の施設を利用するにあたって、なかなか体育館の予約もクジ引き等で大変とりにくくなり、使用料も上がったと聞いております。これ以上の箱物を造ると、将来子供たちにも、財政難で税金の負担が増えるのではないかと心配しております。 世の中の景気も悪くなる話ばかり耳にします。早く雇用が安定し、景気が回復したならば、総合文化会館建設も大賛成です。今は生活も苦しくなるばかりで、とても箱物建設を考える状態にありません。</p>
<p>今回、住民投票で総合文化会館建設が中止になったにもかかわらず、市では別の箱物建設の計画を進めているという話があります。結果的に住民の意見を無視することになるのではないかと思います。 住民投票に関しては、住民が市政に参加できるいいことだと思います。これからも、重要なことを決める際には行ってもらいたいです。</p>
<p>◎二元代表制の問題点 市議会は推進の議決をしたが、市長提案で住民投票が実施された。結果は尊重します！ (ただし、市長の意思表示が欲しかった。今後建設の話が持ち上がっても、住民投票を再度行わなければならない。)</p>
<p>◎意見・感想 大佐久市になる前、当地域における区画整備事業について大論争があった。なぜなら、この地域は北佐久郡誌にも記してある通り、佐久地域の「米」文化の発祥の地であった。新幹線が来るということで、将来の佐久地域の発展のため区画整備事業を行うことになった。この時、減歩率(34~35%)の問題で、当時の対策委員長が糾弾委員会にかけられ追及された。結果は現在の通り、素晴らしい街となり現在に至っている。この委員長の判断がなかったら、現在のようにはなり得なかったと思います。したがって、文化会館用地・道路は地権者による土地提供の地でもある。 その後、臼田、望月、浅科と合併し大佐久市となった。それぞれの地域は合併前に「コスモホール」「穂の香ホール」「庁舎・文化施設」を建設され、大赤字をもって合併した。現市長はこれらの経過を知らずして住民投票に及んだのか、疑問が残る。しかし、結果には従わざるを得ません。今後の跡地利用について、勇気ある決断を望みます。パフォーマンスではダメです。 住民投票条例を制定し、50億円以上のプロジェクトは投票により決定してほしいと思います(運動公園、ゴミ焼却場、火葬場等)。維持管理費も公表してほしいと思います。</p>

<p>東京より移り住んで約4年。大型文化施設が無いことで、コンサートや芝居等は東京まで行っております。佐久には小さな文化施設があるのですが、交通の便が悪く駐車場も混雑し、舞台も狭い等、難点があります。今回の住民投票には期待をしておりましたが、残念な結果になってしまいました。将来のことを考え、人口10万都市に相応しい文化施設は不可欠だと思います。</p>
<p>若いころは投票に関心があり良く行きましたが、あるきっかけにより、政治家、その周りの関係している方々にとっても大きく失望させられました。それ以降、選挙などには大変興味を持っていますが、いまだに足が向きません。選挙などしても、全く世の中変化もありませんし、誰が行っても同じであることを痛感しております。</p>
<p>住民投票で市民の意見が聞けるというが、若い人は真剣に考え投票に行く姿をあまり見なかったと思う。これからの佐久市は今の子どもたちにとって住みよい街になっていくのかときちんと考え、その上で投票を行ったら、結果は違ったのではと思う。</p>
<p>佐久市の若者の投票率は低いと思うので、全て投票で分かるとは限らないと思う。</p>
<p>文化会館建設に関しては、財政のみで判断すべきでない。文化・芸術は金では買えないし、身に付けられない。触れることが重要であり、その機会がないことは残念である。</p>
<p>現市長は建設反対で選ばれており、今回あえて民意を求める住民投票は、結果が始めから分かっておりムダである。住民投票はブーム？</p>
<p>コスモホールは小さすぎるし、勤労者福祉センターは音響が悪いので、大きいホールが私は欲しいのだけれど、公務員の天下り先になったり、運営が赤字になって、その分市民の税金が増えたりするのはいやだ(今でも佐久市は税金が高いほうらしい)。</p> <p>私は建設するほうに票を入れたけど、中止になって少し安心した部分もあり、本当は複雑な気持ちです。中止でもお金を返さなくてはいけないそうで、それもまた変な気分です。正直、お金のことは資料を読んでも、いまいよく理解できていませんでした。</p>
<p>お年寄りの福祉のことを考えてください。高齢者の介護を考えて、住みよい市になるようによろしく願います。</p>
<p>我が家には認知症の祖母と、10ヶ月になる息子がいます。祖母は現在、施設に入所していますが、いっぱい入所できない時期もありました。息子は保育園へ入所申込みしましたが、こちらも途中、入所はいっぱい申込みできませんでした。</p> <p>大切な税金を使うのであれば、こういった目先の課題から取り組んでもらいたい。市民の求めているものを把握することから始めてほしい。</p>
<p>都市部の投票率が異常に低いなと感じていたことがありましたが、今、自分もほとんどの日々、時間を市外で仕事・生活していると、あまり地元のことに関心がなくなったり、せつかくの休日に選挙に行くのが時間の無駄だと思ってしまいました。投票率が20～30%ぐらいだと、ほとんど無効に近いような気がしています。</p>
<p>投票所に行くのが面倒くさいので、ネット以外にも郵送や、電話で投票できると楽でいいのですが。</p>
<p>今、私は年寄りを抱えていて、入るところがない。もっと文化会館の問題より、先にすることがあると思います。年寄りが多くなり、税金を納めるのもままならないのに、自分たちの先行きがとても不安です。</p>
<p>総合文化会館建設地は佐久市の北東部・新幹線駅の近くで、浅間地区住民を除いた市民には遠隔地で利便性に欠けることから、その建設賛否の投票結果はあらかじめはっきりしていた。そのため、柳田市長の反対論を追認する意味が少なく、公費の無駄遣いだ。</p>

<臼田・浅科・望月地区>

<p>文化会館の大きさも考えますが、いつも満杯とは限らないので、自分の好きで、松本文化会館等へ行けば良い…。しかしある程度、夜間の外出等は考えてしまう。</p>
<p>合併特例債とは、市の中心部に箱物を造るためにあるのでしょうか。市街地から外れた場所に住んでいると、合併の恩恵を感じることは少なく、何の整備もされないまま税金だけがのしかかってきます。選挙の際、有力な事業主や地権者の力添えがあるため、議員はその声＝市民の声ととらえていますが、一般市民には癒着としか思えません。</p> <p>今回の資料にも様々な数字が記されていましたが、理想値であり、参考にはなりませんでした。</p> <p>田舎のこのような市政に民意を反映させるには、今回の住民投票は的確であったと思います。</p>
<p>問2についてももう少し記すと、説明会の時は賛否無しで臨んだが…。いろいろな知識はありました。例えば、建築賛成の署名で50万集めたとか？ 10万都市なのに。</p> <p>説明会で一業者の発言であるが、年に1,000人以上の公演を160回やっているという言葉聞いて、これは業者の利益のために造るべきではないと思い、反対しました。友達その他にも、ロコミの運動をしました。</p>
<p>住民投票＝民意ではない、と考えています。</p> <p>市の行政については選挙で、市長・市会議員に任せているはず。わざわざ経費・時間をかけて、ただ一つのことを住民投票にかけることは無駄である。市長だけの考えによる行いであるなら、市長のポケットマネーでやるべき。今回の住民投票の件も「責任逃れ」以外の何でもなく、市長の今後への「売名行為」そのものだと思います。</p> <p>この調査についても、市長は確か中央大学卒業のはず。何か関連があるように思えてならないのですが。(注:この調査は純粋に学術目的で行っており、市長の意向とは一切関係なく実施しております。)</p>
<p>総合文化会館の建設の前に、幅広く文化という概念を深く考える必要があると思います。文化はいつも完全にいいものなのか。人間の主観性を縛ってきたものでもないでしょうか。制度をまたつくるよりも、このような問題を共有することが大事だと思います。</p>
<p>住民投票ではなく、もっとお金のかからない方法でやるべきではないでしょうか。そして全員から聞くべきです。この問題は、反対の人は絶対に投票に行くと思いますが、賛成の人はどうしても行こうと思わないということが多く、本当に反対が多いか分からないと思います。もう少しきちんと対応したほうが良いと思います。</p>
<p>この問題には、はなっから反対でした。佐久市の政権が代わり、本当にうれしく思います。「住民投票」という市民の声が届けられるチャンスが与えられたのですから。政治・経済は全くわからないのですが、今、この現状でそんな建物はいらないのです。</p> <p>昨日、住民投票が終わり「反対」の結果になりました。投票率54%で成立したこともうれしいです。こんな意見が今後、何かの役に立つことを願っています。</p>
<ul style="list-style-type: none">・10万都市に大きなホールがあっても良いと思う。東信地区には無いので。・前市長の時に建設の方向だったのに(試算等にお金を使った)やめてしまったら、かけた費用がムダである。市長が代わったら、決まっていたものが止めになるのはおかしいと思う。長野県では、浅川ダムのように億の金をムダにしている。国では八ツ場ダム。民主党のパフォーマンスで、税金をムダにされた。
<ul style="list-style-type: none">・すでにある同じような建物を使わず、そのうえ建てることはない。・望月は佐久市になり、ますます活気がなくなり、過疎地になってしまった。・働く会社もほとんどありません。・会議など遠くまで行くことになり、とても不便。時間の無駄です。・佐久市に合併しないほうがよかった。何かにつけて、疎外されている。
<p>国の借金がこれだけある中、自分さえよければ良い、使わなければもったいないでは、とても無責任だと思う。</p> <p>今回の問題で、佐久市がリーダーになって、地方から日本を変えるぐらいのことをしても良いのでは？ 国からの予算を空から降ってくるような考えをみんながしているから、国や地方の借金がこれだけ増えたのだと思う。</p> <p>将来の子供たちにツケを回さないようにするのも、大人の責任であると考え。民間企業には収支計画などかなり厳しく求める役所の人達は、自分たちの計画はとても甘い計画なので、やっていけない事業が多いと思う。</p>

<p>昭和22年からの人々が多い中、文化センターより老人ホーム他、やる事が多数あると思います。年間経費が3億以上かかる文化センターを造ることはない。</p>
<p>文化会館があれば便利とは思いますが、利用が見込まれないうえ、維持費が多額である。合併特例債、住民投票費用などは、維持費を毎年支払うことを思えば安いものだと思う。</p>
<p>議会で決まったことでも、住民投票という方法で市民の意見が表せるのはいいことだと思います。借金はなるべくしないほうが良いと思います。入れ物だけ作っても、ほとんど空いていて使わなければ無駄だと思います。</p>
<p>柳田市長の考え、方針について： 彼が今後、佐久市をどういう市に育てていくのか全く分からない。話がうまいが中身が無い。今回の市民会館建設は、当佐久地方にとっては長年の悲願であった。県内ではいつも当地方は、文化果つる地域と馬鹿にされ続けてきた経緯がある。 一流の人間、幅広い奥深い人間性を育むには、絶対に一流の文化に触れなければならない。そのためには、一流の施設が絶対に必要。 文化・教育には、損得勘定抜きで資金を投下する必要がある。これからの地域、日本を背負っていく子供、青年に一流の文化に触れさせたい！！</p>
<p>箱物を造ることは、今後は必要ない。(道路も含め) 7割の国の負担も、市民の税金です。これからは新しく造ることよりも、修理・保全等にお金を使うべき。市の職員数も減らすべき。(多すぎ)</p>
<p>すでに建設に向けて動き出してしまっていた。文化会館建設に対し、このような形で中止にすることができたのは、自分たちが市政に参加し、動かすことができたという実感を与えてくれました。住民投票の結果を大事にしてほしいと思っています。</p>
<p>本人も病気、父も病気、結婚した時から介護生活の連続で、子供も育てる家庭ではない家庭生活を送ってきましたので、社会へ目を向けることなく、一日を送ることで精いっぱいです。よくアンケートを送られてきますが、協力できません。はっきり言って迷惑です。ゆっくり自分を見つめるときがないので、申し訳ございません。</p>
<p>今回のこの調査が今後の地方政治、国家政治にどう影響するのかわかりませんが。。 少なくとも、今の日本ではだれが首相になったとしてもたたかれ、支持率は満足のいく数字になりません。ホントに、「頭の悪い能無し政治家」ばかりで、この国の行く末が不安です。。 結局、自己のことしか考えず、ただの給料ドロボーにならないようにしてほしいものです。それは、今回の佐久市の総合文化会館のことについても同じような気もします。文化や芸術を観たければ今あるものを使い、それでも足りない人は他県等へ個人的に観に行けば良いのでは?? 何もこのようなものにムダ使いするより、もっと子供や高齢者のために有意義なお金の使い方をすべきだと私は思います。</p>
<p>・政治的なことはよくわかりませんが、文化会館建設予定地を小学校建設に回したらどうかと思う。 ・今回の住民投票は、佐久市民としての自覚をし、佐久市を身近に感じられた選挙でした。</p>
<p>勤労者福祉センターの使用料も高いと聞いたことがあります。勉強会で月2~3回利用しますが、せまいです。畳の部屋も広いのが必要。増築できないか? 費用も安く済むと思う。 少子化の現在を考えると、必要になってから文化会館を造れば良いと思う。場所的には駅に近いので便利と思う。東京からの通行も良いので、先生もお呼びできるなど好条件の地。 勤労者福祉センターは「県」で文化会館は「市」と聞きますが、行政ってわかりません。中途半端な建物ばかりも困ります。</p>
<p>私はコーラスグループに入っていて、定期演奏会はコスモホールを使います。その他、市民コーラス祭り、母親コーラス祭りもコスモホールですが、800席が満たされたことはありません。佐久市には数多くのコーラスグループがありますが、演奏会は500席の勤福センターを使います。そんな現状で、1,500席のホールは全く無駄であると思います。</p>
<p>旧臼田地区にコスモホールがあり、合併前の佐久市には特にコンベンション施設は無いから、今回の合併を機に合併特例債を利用し、大きな会館を造ろうとしたもので、合併後の住民サービスは大きく低下している(それが役所サイドのメリット)。よって、旧佐久市からの課題のために市費を多額に投入することは、好ましくないと思う。 新幹線の駅もあり、東京の文化施設、長野の文化施設で芸術に触れるといった地域で良いのではないか。</p>

<p>選出された市議による市政についての報告があまりなく、どんな流れに佐久市が乗っているのかが分かりにくいと思う。仕方がないとは思いますが、行政の立場の人は専門用語を省略したりして分かりにくい。高齢者は理解しにくいと思う。</p> <p>今回の住民投票は大変有効であったと思う。</p>
<p>住民投票は無意味だと思う。市長、市議の必要性がなくなると思う。住民投票にかかった費用は、市長、市議が市に返済すべき！（職務怠慢）</p>
<p>国会、佐久議員の皆さま、あまり大きなことより、もっと身近なことなどに力を入れてください。</p>
<p>市の広報や配布資料、住民説明会・集会に参加してみて、とても参考になりました。合併特例債を活用するには「今」でしょうが……。旧佐久市の時代から文化会館を建設する運動をしてきたことを、集会に参加してみて知りました。しかし、旧臼田、浅科、望月には、最も近い会館があります。その地域の人達はそれで十分だと思っているし、今現在も大いに活用しているでしょう。あえて中心の場所まで行かなくても良いと思うでしょう。その周りの人たちの建設反対が多かったように思われます。</p> <p>また、年配の人たちは文化・芸術と言ってもほど遠く、今現在の年金暮らしの足元が現実でしょう。建設したら、福祉に回ってこないと思うでしょう。反対の宣伝カーは見ましたが、賛成派は見られず……。資料を見たり、集会に参加したりしないと意識が薄いでしょう。だから、必要ないと思う人が多いでしょう。</p>
<p>37円の収入で92円もの支出をしている日本です。本来ならば、もうとっくに破たんしているはずですが。これが個人の家だと考えると、どうなるのでしょうか。私は結婚以来32年にわたってずっと家計簿をつけ通し、我が家の収支をつかみ、適正な支出を心がけてきました。国債の発行に踏み切った時代から、身の丈で暮らすことを日本の国民、政府はないがしろにしてきた。そのツケが今、この格差社会、人を大切に、何より人間ができる他者への思いやりを忘れさせるという形で表れているのではないのでしょうか。</p> <p>これからの世代に過大な負担を強いることの無いよう、建設反対が決まりホッとしています。反対に投票した者として、住民投票が行われたことを高く評価しています。市議会は市とともに建設推進の立場であったので、今回の住民投票が行われなければ、文化会館は造られたということになります。議会の方々も民意とのずれを認識し、市民の代表としての議会になるよう努力してほしいと思います。</p>
<p>住民投票があつて良かったです。年々人が減っていくのに、もっと教育、子供たちに目を向けてほしいです。</p>
<p>この事業は三浦市長当時から進められており、議会では議決され、また合併後の市区長会でも承認されており、建設するのが当たり前である。建設に向けての土地費用、設計費等々、多額の費用が使われており、本当に無駄でした。合併特例債を利用すべきであった。残念でした。</p>
<p>自由民主党でも民主党でも良いのですが、もう少ししっかり政治をやってほしいものです。無駄なお金は使わない。国も県も私の家も、今はそういう時だと思っています。</p> <p>総合文化会館が出来たとして、何回くらい死ぬまでに訪ねるか？と考えた時、私の場合、1回か2回くらいと思い、建設に反対しました。</p>
<p>柳田市長の市民への問いかけの、今回の住民投票の判断は正解だと思う。</p>
<p>今回、総合文化会館の建設の是非について、我々市民の民意を第一に考えた住民投票は評価している。柳田市長の一つの姿勢が貫かれるよう、今後も期待したい。</p>
<p>今回の住民投票は大変よかった。国にも地方にもお金がないのだから、箱物はよく考えて行ったほうがよい。</p>
<p>◎柳田市長は、住民参加の行政の大きな一歩を踏み出したと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>住民投票はいいことだと思いますが、反対が多いからそれが必ず正しいということにはならないと思うので、いろいろ考えていく必要があると思います。</p>
<p>住民投票に関わる費用も明らかにしてほしいと思いました。市長・議会には、興味のない年代にとっては全くムダな選挙だったことを認識してほしい。</p>
<p>問いは文化とは何かと考える論議から始めてほしいと願いを込めたい。</p> <p>市内に文化会館(コスモホール)があり、もっと使っていただきたい。ホールの音響も最も優秀であり、何の不満もありません。</p>
<p>箱物でない文化振興を。お金のかかる箱物一辺倒だった文化振興に反対です。</p>
<p>このような調査票が投票直後に配達され、驚いています。これだけ関心が持たれていることに驚いています。今回、自分の意見が市政に通じたことに喜びを感じます。</p>
<p>①選挙となると大変なお金がかかると聞きます。でも、民主主義の世の中で多数決という力の多きさを実感しました。</p> <p>②立派な文化会館(箱物)で人を呼ぶよりは、佐久の美しい自然(立地条件)を呼びものにするような発想してほしい。</p>

<p>総合文化会館の問題より、山間部の農業の実態をよく調査して真剣に取り組んでほしい。例えば鹿対策について。高齢化した農民の苦しみを。</p>
<p>私は、実家は旧臼田町ですが、家に入ったのが5年くらい前です。佐久市というのは他の市町村という思いがいまだに残っているため、佐久市民という実感がなかなか持てません。</p> <p>総合文化会館の問題も、自分たちの問題であるという実感が持てなくて、また賛成派、反対派それぞれの意見を聞くと、両者にそれぞれ理解できる部分と納得できない部分があり、投票日までに自分の考えがまとまらなかったです。</p>
<p>自治体で一度決まった計画・議案について、より合理的で安い費用により住民が見直す機会、決定できる仕組みを考えてほしい。</p>
<p>総合文化会館の問題は、合併前は他人事のように受け止めており、さほど関心もなく、他町村が建てるなら、大きな文化会館があればそれに越したことはないと思っていた。私は観劇も好き。音楽もチャンスがあれば聴きたい。近くなら、時間もかからず良いと考えていました。</p> <p>しかし、合併してから佐久市の財政にも不安を覚えたり、また将来のことも心配になりました。自分の事業（家計）に置き換えれば、新しい建物や家財は良いと思うが、補助金をもらって運営しても、しょせん税金を使ってすることである。自分の力でやるという意志も必要と考えます。国からの補助をもらっても、それはやはり借金だと思います。現在あるものを工夫して使うことも大切。</p>
<p>前市長、議会で文化会館建設ということが決定していたが、住民投票で否決されたことは誠に残念。住民投票だって、お金がかかるではないか。そうまでして決めなければならないのか、疑問だ。</p>
<p>今回の文化会館に関する住民投票は、市民参加の政治と考えられる。このように市民、国民の声を聞く政治が望ましい。</p>
<p>旧臼田町の合併にあたり、町長、町議員の判断のみで（合併が）行われ、いまだにギクシャクしている。今回、柳田市長の公約通り、市民の気持ちを住民投票で確認してもらえて、これからの市民意識の中でわだかまりが残らないと思ひ、うれしいです。</p>
<p>フルオーケストラ、佐久市民ミュージカル、若い人にも楽しんでもらえるアーティスト、もっといろいろな芸能・文化、たくさんの夢が破れた。投票した人の年齢なんかも問題があるのではないのでしょうか？</p>
<p>[※住民票は佐久市にあるが、現在神奈川県に住んでいる方のご意見]</p> <p>今回の意識調査で初めて、この問題を知りました。コスモホールなどの会館は、個人的には昔よく利用していましたし、思い出もたくさんあるので、なくなってしまうとしたら、さみしい気持ちがあります。</p> <p>会館などを使う・使わないは個人差もありますし、負担は税金なので、いろんな意見もあるだろうと思っています。市民の税金がかかる以上に、会館施設がもっと地域に根付いて、皆が利用していけるようにと願っています。</p>
<p>住民投票の時期が遅い。計画を立てる時点ですでに多くのお金を使ってしまっている。（設計図などで）文化会館よりも、教育施設などの面でやるべきことはたくさんある。勤労者福祉センターやコスモホールなどがなければ別だが、同じようなものを、今この時期に建設する必要はないと思う。</p>
<p>尖閣諸島問題、北方領土問題等、一流大学を卒業した政治家がなぜあの程度のことしかできないのか、理解できない。国も地方も、政治屋は居ても国を想う政治家が不在。それを選んだ国民にも大きな責任がある。</p>
<p>東京から移住してきましたが、まだまだ田舎です。他県（熊本、兵庫）へ行ってみますと、とても活気があります。長野市を見てください。また、この近くの小諸市を。各商店は閉店しています。もっと街の中を活気で満たした後にでも、文化会館は造るべきです。</p> <p>貧しい中で、何ができるでしょうか？ もう少し頭のいい人が出てきて、人々が豊かに暮らせる方法を考えるべきです。反対者が多いということは、皆同じようなことを考えていると存じます。</p>
<p>総合文化会館があれば良いと思うけど、オーケストラ、有名歌手のコンサートなどは高いので、年金生活者などはあまり行かれない。</p> <p>浅科にも穂の香ホール、岩村田には勤労者福祉センターがあり、講演などは充分できる。どうしても見たり聞きたいときには、上田か、臼田のコスモホールへ行けば良い。夕張の二の舞にはなりたくない。</p>
<p>総合文化会館を建てるのもいいけど、福祉・医療関係をもっと重点的に考えてほしい。住民投票には行けなかったが、私は反対だった。総合文化会館は、今現在は必要ない。佐久市には廃校舎があるので、それを利用することを考えてほしい。</p>
<p>最近の日本は経済が思わしくない。合併特例債も借金のため、一部の人達の文化のためより、これからの人達のため、奨学金などに使ったほうがよいと思う。</p>
<p>大金がかかる文化会館、その後の管理費等を考えると、もっと福祉、介護に関する施設が大切と思う。</p>

<p>住民投票により、市長が建設中止を決断してくれてよかった。他の自治体でも、いわゆる“箱物”行政の失敗が話題となっているが、佐久市はその失敗をしなくて済むと思う。</p> <p>建設費(その後の維持管理費)を老人関係や子育て関係(市内保育園、幼稚園の保育料や給食費に充てる)に使うなど、もっと市民生活に身近な所に使っていただけると幸いである。</p> <p>投票率がもう少し高ければ良かったが、投票した人は、少しでも市政に参加できた気持ちだろうと思う。</p>
<p>投票率50%以上としていましたが、そのことについては、もっと関心を住民は持つべきであると思う。問題が飛んでしまうが、選挙のたびに低い投票率に疑問を感じる。なぜ投票に行かないのかと問いたい。選挙権を重く自覚してほしい。私たちが支払っている税金の使い方を決める人を選んでいるのだということに認識しているのか問いたい。投票率が30数%等と報道されているが、本当に大丈夫?と強く思う。選挙の意味について、もっと教育が必要ではないでしょうか?</p>
<p>最後に来て反対派の意見ばかりが目立ってしまって、建設した場合の良いところなどが薄くなってしまったように感じ、残念でした。税金が上がるなどのマイナスイメージが強くなっていった気がします。</p>
<p>今回は総合文化会館をめぐる問題についてでしたが、市町村合併で発生している問題、特に住民が強く感じている問題についても、目を向けていただけたらと感じました。</p>
<p>高齢化社会になっているので、福祉や病院を建てるほうに力を入れていただきたい。高齢者が病院や診療所で待たされる時間が1時間以上になると疲れてしまう。高齢になると医者にかかることが多くなるので、老人ホーム、病院を早く建てていただきたい。</p>
<p>総合文化会館は、他の会館(コスモホール等)が黒字になるか、またはそれに近い運営になってからの話であると思っています。</p>
<p>3200万円もかけて住民投票をするのが良いか悪いか? 市長のリーダーシップに期待したい。</p>
<p>若い世代には住民投票の制度は必要だと思うが、年齢が高い世代には、遺恨が残る手法だと思う。</p>
<p>今回の住民投票の結果は、現市長が当選した時点で予測できたことであると思う。このような時期に、無駄な時間やお金をかけるべきでなかった。市長自らが決断すべき問題だったのではないと思う。</p>
<p>介護タクシーを利用して病院へ行き、車いすの生活です。投票に行きたいとは思いますが、タクシーを頼んでまで行こうとは思いません。歩けるようになったら行きます。</p>
<p>人の、市民の顔色ばかり見ている。県知事、市長も…。総理大臣もリーダーシップ・カリスマ性を感じない。ともかく、穏やかに生活できる力強いリーダーが欲しい。</p> <p>今回は住民投票など行わなくても、市長は最初から反対の立場だったのだから、市長が何がなんでもきちんとして理由をつけて、反対の意見を主張すべきことではなかったかと、今回は投票に行きませんでした。責任逃れの住民投票だと思いました。</p>
<p>景気が思わしくなく、文化センターに向く気持ちになれず、好きな人は遠出してでも見に行けばいいと考えた。文化センターができて、相乗効果はそんなに変わらないと思う。</p>
<p>問題点があるならば、積極的に言ってほしい。佐久市民としてもっと声を上げるべきだ。</p>
<p>中学生の吹奏楽のコンクールを聴く機会がありました。生徒たちは自分の演奏が終わると通路に座ったり、端に立って他校の演奏を聴いていました。参加した生徒や保護者が座ってゆっくり聴けないのです。この子供たちが、またここで演奏したい、このホールでいろいろな音楽や文化に触れたいと思ってくれることも、文化を育てる一つと言えるのでは。お金はかかって当たり前。今回の結果は本当に残念でした。</p>
<p>現在、佐久市にはコスモホール等がある。有効に利用し、使用不可能に近づいた時点で考えればよいと思います。また、用地については公園等にして、文化会館が必要なときに使用すれば良いと思います。</p>
<p>1500席のホールを建設しても利用者が少なければ、管理運営費が赤字になるではありませんか?</p>
<p>文化会館を造り、そこを中心とした文化振興を進めるほうが良いと思う。駅から近くて人が集まりやすい場所に今造らなければ、もう二度と造れなくなると思う。費用の面ばかりが強調されていたが、文化の振興にはお金では買えないものがあると思う。</p>
<p>総合文化会館の必要性はどこにあるか。旧町村には文化施設があり、みんながそれぞれで活用しておいた。文化会館が出来ると、旧町村の施設はどうなるか。財政上もかなりの負担が多くなるとともに、維持費が年間2億円以上とのこと。</p>
<p>今回の住民投票で、議会のあり方を考えさせられた。住民の代表で出ているのに、反映されていない。大きなことをやるたびに、この先住民投票を導入することとなると、少し問題が残ると思った。</p>
<p>住民投票によって民意を問うてばかりでは議員の役割が不明になるが、今回は必要であった。</p>
<p>今回の住民投票は、佐久地域の状況よりも日本国の経済状況が反映されたように思えます(将来を不安に思っている住民が多い)。元々、佐久地域は文化レベルの低い所なので、文化会館(文化)が価値の無いもの、また将来役に立たないものと考えたのではないのでしょうか。箱物の賛否について住民投票をすると、必ずどのようなものでも否定派が勝つと思いますので、市長の公約でもあったので仕方ないことなのかもしれませんが、住民投票は行うべきではなかったと思います。</p>

<p>この程度の調査に国費を使っていることの無駄を一番感じている。</p> <p>賛成の人達は運動はこれで終わらないと言っているが、コスモホールなどがあるので、そこを皆で使えばいいと思う。音楽活動もコスモホールで行ったことがあるが、大変よく出来ていていいと思った。そのほかに、これからの子供たちの遊び場所を考えて建設してほしいと願っています。老人ホームも、同じ考えです。私たちはそう思います。</p>
<p>市長が代わることにより、今回の件などとも考えさせられて、住民が中心となり参加できたように思う。選挙には行くべきだと考えますが、今回はどちらにしてよいのか悩み、わからず、最終的に他の方にゆだねる形になりました。関心を持って行政の動きを見ていなかった私もよくないのですが、知らないうちに事が運んでおり、正直なところ、「今ごろ聞かれても・・・」という気持ちでした。(どちらにしても、負担があるので・・・)</p>
<p>建設業者のために造るような気がする。</p> <p>こういった調査に協力したことはあまりないので、結構自分の思いを伝えるのは難しいものだと思います。質問者の側の方も難しいと思います。</p> <p>佐久市は、意外なほど大きな地方都市になってしまいました。上に立つ者は大変だと思います。総合文化会館も小さなものはもうたくさんあり、中央に大きなものを建設しても、佐久市の外れのほうに暮らしている人たちにとっては、それをどれだけ利用し、恩恵を受けることができるのか疑問です。小諸市のように新幹線を通さなかったほうが、将来は心豊かに生活できるのではないかなと考えたりする昨今です。</p> <p>今回の住民投票には、大いに賛成でした。市民一人一人の意が届いた感じがします。これからまた、このような難題にあった時、このような形を取ってほしいです。</p> <p>市長選挙には行きませんでした。柳田市長さんには、このたびは感動しました。頑張してほしいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が不便で、会館が出来ても行くことが不可能である。 ・中心部のみ発展している。 ・市内バスも、山間部には来ない。 ・イベント(農協祭など)も中心部で合同でやるようになった。
<p>以前に総合文化会館を造ることになっていたのに、再度住民投票にて決めることは変だと思います。住民投票数日前に市議員(賛成)の方から、今回の件、住民があまり関心が無いようなので、過半数に届かないかも、今までに使った費用が無駄になってしまうので投票に行くようにと。それなら、費用のかからないように進めることが出来たのではないかと思います。</p> <p>今回の住民投票の予算等についても、やる前から分かっていた話で、こんなことに人やお金を使うなら、市議が住民の意見を聞いて回り、その意見を議会に反映させるべきで、簡単に手抜きをしようとする議員・・・と言われても仕方ないのでは?? 意見を上にあげるための議員ではないのですか? 今回の一連のポスター、ちらし、選挙の段取り、および費用。もっと違った使い道があるのではないのでしょうか? だから、投票には行きませんでした。無駄を排除しようとしている現状で、今回の件は、無駄の代表であると思いました。</p>
<p>国も地方も、国民や住民との意思の疎通がなく、特定団体の意見で動いているだけのようだ。もう少し皆の思いを汲んでほしいものだ。そうすれば、今回のような投票をしなくてよいと思う。</p> <p>投票率が思っていたよりも低く、その結果によって決定してしまったことは残念に思います。投票率70%以上、有権者全体の過半数の結果によって決定してほしいなと思いました。住民投票を行ったことは良かったと思いますが、それによって多額の税金が使われてしまったことは残念です。</p> <p>建設が中止になったため、その土地をどう利用していくかについても、もっと多くの意見が聞きたかったです。今後の大きな課題です。</p>
<p>公共のホールがいくつもあるのに、大きな工事をして造ることはない! 投票率ももっと高くても良かったと思う。もっと市民が関心をもってくれたらと思う。</p>
<p>税金が高い北海道夕張市のような住民になりたくない!! 年金生活のため大変です!! 税金は最低限に抑える市にしてほしい!!</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 住民投票(建設の可否)はムダ。 2. 首長としての責任の放棄である。 3. 地方は基本的インフラの整備が遅れている。次世代のため、ある程度の施設は必要。 4. 合併特例債を、首長は全く理解していない。
<p>投票率54%、どうなのでしょう。子供たちへの借金を少しでも減らすために、70%以上の市民の声が上がって当然ではないでしょうか。夕張のようにはなりたくないものです。</p>

<p>最近、住民投票があちこちで話題になっていますが、行政、議会の独自性を考えると、あまり喜ばしいことではないように思える。</p> <p>自治体、議会がもっと住民の意思を尊重する行政を期待する。</p>
<p>結果が建設中止となりました。その前に投票率が50%行くか気がかりでしたが、市民の関心が高かったのでしょう。投票率はクリアしてホッとして！！ つづいて、反対70%とはまたびっくり。市民の判断は着実だったと思います。</p> <p>予定していた土地の問題も、議会側と十分に話し合って、正しい(有効的な)利用方法を楽しみにしています。利用するのは今考えている私共の時代でなく、若い市民です。「これで良かった」と感謝してもらえるような、そんな将来を見据えて企画してもらいたいものです。子供・孫たちが佐久市を離れないように。しかし、孫たちにはグローバルな活躍してもらいたい。でも、佐久市を自慢できるように私達も努力しなければ・・・大切な時期です。</p>
<p>今回の住民投票については、柳田市長の責任逃れのための投票のように感じた。そのため、投票に必要な経費は税金のムダ遣いでしかなく、もったいないとしか思えない。この問題は、市長が当選するときに反対をうたっていたこと。それを蒸し返してムダな投票をするのは変です。</p>
<p>文化会館建設には賛成であるが、旧臼田と浅科に会館があり、投票の結果には満足しています。</p>
<p>市民は合併時には、この問題について半分の方の賛成があったと思います。日々が過ぎると、だんだんと地域の環境が悪くなる状況になりました。臼田町は、佐久市南部を形成する基本の町でした。これからが心配です。</p>
<p>市民のための行政サービスをしてほしい。</p>
<p>住民投票に際し、“議会軽視”との反発があったが、とてもこっけいである。市民の直接投票が本当の民意と考える。確かに乱発するのは良くないが、直接投票で選出された市長と議会が対立した場合は、重要案件については実施するのはありだと思う。</p> <p>今回は、箱物行政に一石を投じた意味で、地方分権を進めるため、全国的にも良かったと思う。</p>
<p>日本中の地方が、合併特例債の使い方について、佐久市の手法を参考にしてほしい。</p>
<p>文化に触れる生活は希望ではありますが、あまりにも現在の不安な生活を考えると、それ以前に何か行動しなければならないことがあるはずです。</p> <p>反対者一人一人の文化に対する意識の低さと決めつける前に、賛成できなかったその基を掘り下げて追究していただきたい。その結果、新たな動きが始まるかもしれないと思います。文化会館建設は、これで終わってしまったのではないのではないのでしょうか。住民投票は民意がよく分かり良かったと思います。</p> <p>もっと土地価格が安い地域に造るべきだと思う。</p>
<p>国が行う政策は一時的な策ばかりで、長期的な展望が見えない。身近である市政、県政も同じ。政治を志す人の意識・モラルの低さが問題。今回、反対が7割に達したことに對し、建設を推進した議員全員に理由を聞きたい。</p>
<p>今回の総合文化会館建設の問題、そして過去の市町村合併問題にしろ、いつも住民の手の届かないところで事がどんどん先行している。相変わらずの住民不在のようであんまりしている。今回のベストともいえる住民投票の結果を見ると、市議会での可決とは相反する結果で、議員報酬をもらい政務を行っている議員の皆様は、何を感じ何を反省したのだろうか。</p> <p>今回の住民投票の結果を踏まえ、柳田市長の建設中止の決断は、まさしく民意を反映したもので大いに評価したい。これからも柳田市長を支持し、応援してまいりたい。</p>
<p>大きな道路が工事されている。高速も南佐久の人には生活に必要なかもしれないが、大きすぎる道は、今後本当に必要なのか？</p> <p>住民投票は、国の選挙と一緒にやるとかできなかったのだろうか。</p>
<p>行政だけで色々な問題を決めてしまうよりは、場合によっては住民投票という形をとって市民に問うことも必要だと思います。ただ、手間と費用がかかるということは、慎重に判断する必要があります。</p> <p>総合文化会館等の文化施設については、細かな部分まで将来の維持管理の問題まで示されていたが、他のホールとほぼ変わらない座席数であれば、今あるホールの活用を最優先に考えていただき、大きなホール等で町おこし的に考えてほしい。</p>
<p>信毎に賛成・反対それぞれの立場から特集記事が載ったことは良かったと思うが、賛成でも反対でも同じぐらいお金がかかる、といった見方はマスコミとして浅はかだったと思う。維持費や特例債を他で利用した場合など、議論の深まる機会にしてほしいと思った。</p>
<p>一人一人が自分の生きていく社会を作っていくという意識を、子供の時から教育する体制が必要と思う。</p>
<p>国も地方も財政難の折に、建物は無理だと思います。道路が整備されていないのに、交通渋滞も心配です。佐久平駅からの新幹線に遅れてしまうこと、交通事故も起きやすくなるのが心配です。現在でも、時として渋滞が起きております。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ハコモノを造るより、良いピアノを買うべきだ。 ・観客を育てるべきだ。 ・軽井沢大賀ホールの駐車場を広げるべきだ。
<p>住民の意見も大切だとは思いますが、税金を使って住民投票をやることを疑問に思います。もう少し市長のリーダーシップが欲しいです。</p>
<p>佐久市議会(議員)への不信が大きい。今回の投票結果について、賛成派の議員の動向を注目したい。住民投票の結果を踏まえ、根本的なところで今後は検討すべきである。</p>
<p>高い授業料を支払った感がある。</p>
<p>これからは箱物ではなく、環境問題に税金を使うべきだと思います。施設の維持費に使うお金があったら、その分のお金を不法投棄されているゴミの回収に使い、清潔感のある美しい佐久市を目指すべきです。</p>
<p>住民投票は良かったと思います。会館にかかる費用を少子化問題、老人福祉など、今やらなければならないことに活用してほしいと思います。</p>
<p>今回、議会のみで決めてしまっても良かったような問題を、住民投票でもう一度決め直したことはとても良かったと思います。</p>
<p>今回問題となった総合文化会館建設の問題が持ち上がったのは、前市長による施政下でのことです。前市長は非常に個性的な性格で、支持者の間では絶大な信頼を得るも、一方では強固な反市長派を生み出してきました。</p>
<p>今回の投票が、純粹に総合文化会館建設に対する賛否ではなく、前市長に対する個人的な感情が投票結果(行動?)を左右したのではないかと。少なくとも私自身は、どちらなのか自信がありません。</p>
<p>公共のホールで演劇活動等に参加はしませんでした。花展とかお茶会とかには参加しています。演劇等で利用するのではなく、他の活動にも利用できるものを造ってもらえると良いと思っています。</p>
<p>今回の投票で、地方議員と有権者の違いがよく分かった。地方議員(国会議員も)はもっと社会情勢、住民の考えを知る努力をして、勉強してほしい。結局、議員の今までの行動は何だったのか。実力の無い方の集合組織かもしれないと大いに感じた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の住民投票は、市長がずるいと思う。 ・大金をかけて住民投票はやるべきではない。
<p>地方行政の住民投票は、投票率が非常に大事だと思う。今回、50%以上の投票率が成立要件として適用されたが、その点についてはどうなのか? 少し疑問に思った。</p>
<p>市長はじめ良識ある市民はほっとしていることと思います。ただ、今回のような件で住民投票ということにはいろんな意見もあろうかと思いますが、とりあえずはめでたしめでたしで今年も暮れるでしょう。</p>
<p>もう少し座席数が多くなれば、有名なアーティストのコンサート等が行え(今は長野、松本、県外でしか見ることができないが)、佐久平駅が近いこともあり、他市町村もしくは県外からも来られる方がいるのではないかと。家族、職場の方々としたことがあります。</p>
<p>独身の時はいろいろと見にも出掛けましたが、結婚してからはなかなかコンサート等、遠くまで行くことはできないので、近くに公共のホールができればコンサート、ミュージカル等へも行ってみたいと思っています。建築費、管理費等のことを考えると、どちらに投票したらよいのか判断に困ってしまいました。</p>
<p>今回の住民投票については、議会で決定していたことであり、すべて無駄とは思わないが、トップの判断でも良いと思われた。</p>
<p>全国的にも珍しい文化センターの住民投票に立ち会い、反対票を投じましたが、今になってみれば、孫たちにあのくらいのもを造って残してあげても良かったのかな・・・? 反対して造らないその分、福祉に充てられたり、もっと他の必要とされている方に行き渡れば、市全体で住みよい生活が送れると喜ばしいことです。賛成、反対どちらにしても大変でした。</p>
<p>建設費用などは、福祉の面に活用してもらいたい。</p>
<p>民の票を得て大なり小なりの職に就いたなら、その仕事に専念してほしい。また、権力を振りかざすのは言語道断。</p>
<p>現状でも各地区の公会場の次のレベルで、近隣地区の住民とひざを突き合わせて交流できる小さな施設が、仕分けにより切り捨てられようとしています。</p>
<p>小さなことも大事にしながら、大きな施設は長野県、または東信地区としての、もっと上のレベルで考えても良いのではと思います。</p>
<p>総合文化会館に限らず、今日のような経済が大変な時に先の見通しの甘い計画を立てる、私達が選んだ議員の方々の見識を疑います。</p>
<p>市民の代表である市会議員は、市民の意見を聞いていないのではないですか。</p>

住民投票をやったことは、とても良かったと思います。私は総合文化会館が出来ればいいなと思っていた反面、余分なお金を使うことになるのでは、という気持ちもありました。建物を建てて、佐久市が今以上に元気な市になることも少し期待をしましたが、実際どうなのか分かりません。
これからは高齢化が進み、人口減少になり、大きいホール等は不要と思う。福祉関係に税金を回したほうが良いと思う。
今回の住民投票の結果は、大変残念でした。文化の発展は地域の発展となり、未来の子供たちのことを考えると、まだまだ10年20年と遅れてしまうなと思います。島国根性なのでしょうか！！ 目先のことにこだわらず、大きな立場に立って市の発展、国の発展にとなれば良いと思います。
総合文化会館は造らないことになりましたが、約31億円はどうやって国に返していくのか心配です。
私たちの知らない、知らされていないことがたくさんありました。住民投票により、明らかになったことは大変良かったと思います。
文化会館については、今あるコスモホール等で良いと考えています。そこで観たいものを観て利用させていただく。自分で観たいものがコスモホール等で観れないのなら、出かける。今の佐久市には、もっと必要な金の使い方があると思う。もし造っても、維持費のほうが大変になることが大変だと考えます。箱物よりも、年寄りに優しい地域づくりをもっと手厚くしていかないとはいけません。
旧臼田町は、もっと福祉に力を入れていました。佐久病院も移転の方向になっています。残念です。
総合文化会館と主旨は違いますが、今は高齢化になり、私共の地区にも最低年金者が多数います。箱物はいいですね。国と県が直結して、最低年金者が入所できる老人センターを大いに建設していただきたいと思っています。
今回の住民投票での総合文化会館をめぐる問題は、もう少し時間をかけて、市民の皆が納得できるようなものにしてほしかったと思います。
市民説明会などに出席できない人がいることなど、市民が本当に分かってできるように、説明会なども根気よくやらしてもらえれば、聞く機会もできたのではと感じています。
国の借金が862兆円にもなっている状態で、税金の使い道を真剣に議論していく必要がある。今までのように政治家や役人だけに任せるのではなく、積極的に関与していかなければならないと考えている。その意味から言って、今回の住民投票は有意義だったと思う。
今ある建物でも、文化会館の役割を果たすことができると考えています。
投票率が低すぎる。
名ばかりの議員が多すぎ。もっと住民の意見や希望や意志を集めるべき。
今の政党は話し合いができず、反対、揚げ足取りばかり。論議をしているところを見たことがない。だから誰も同じだ。だから選挙に行く気になれない。
当市の住民の考え方、行動の仕方について、今回初めて理解できました。投票後に聞こえてきた言葉はただただ維持費のことだけで、いかに有効に利用していくかという、建設的な将来への展望が見えてこない佐久の人達です。残念でした。
総合文化会館をめぐる問題については、佐久市内にもいろいろな施設があり、これらをフル利用したら良いと思います。多額の建設費をかけて造ったものなのです。
素晴らしい多目的な会館と思いますが、高齢化社会で、その会場までの道のりも大変ではないでしょうか。未来のためには、必要かとは思いますが。
1. 10万都市には、1,400~1,500人規模の総合文化会館は必要です。 2. 佐久市の文化のレベルアップをしたかった。 3. 文化格差が一層大きくなる。(例:小中高生の行事である芸術鑑賞で、規模の大きな演劇、オペラ、オーケストラ、バレエなどは上田、長野、松本、小諸等に行く。さらに交通費等の負担も多い。良いものに接する機会がなくなる。) 4. 20年以上を費やし熟慮した建設計画が無駄になり、市民として慙愧に堪えない。 5. 総合文化会館は、合併の条件でもあった。合併特例債によって建設することを今でも願っている。佐久市は一世紀遅れてしまう。 6. こんなことで住民投票とは、最悪の市政である。税金の無駄遣い。返済金もできてしまった。 7. 投票用紙にも問題あり。一般的に選択肢は賛成を前にするのが普通であるが、この用紙は反対が前にあった。反対ありきの用紙であった。 8. 以前の議会では建設を可決したのに残念である。反対は1人の議員だけであった。代表民主政治の崩壊。一事不再議のようなものである。市長も市議会も不要。市職員と区長で市政は十分である。 9. 建設支持者の多くは投票しなかったという。真の民意ではない。

私は平成21年に、長野市(官舎)から転勤に伴い住所を佐久市(自宅)に異動しました。同時に木曾郡に単身赴任となり、自宅にはほぼ毎週金曜日に帰り、日曜日に戻るといった生活です。今回の住民投票については自宅に帰った時に知りましたが、何のための投票か全くわかりませんでしたので、投票には行っておりません。

このようなケースもあることを、ご理解いただければと思います。

今回の住民投票は、異例のトップダウンでした。市長は中立と言いながら、各地の小さな集会では、これができる場合の経費は皆さんに負担してもらおうとか、老人会では、老人福祉にお金を使ってもらうことを希望する人は反対に、と言いふらしていました。ある程度分かっているような集会等ではダンマリを決め、誠に首長に相応しくない言動でした。

次回は、100%市長サイドの候補者にも投票はしません。あきれ果てています。

住民投票は、進学により長野県を離れているため行っていませんが、建設には反対の立場でした。佐久市内には、すでに複数のホールが存在しており、その有効的な活用法についてまず考えるべきであるかと思えます。そのうえで、新しいホールが必要とするならば、その理由を十分に説明するべきなのですが、それらが十分に行われていたようには思いませんでした。今後、中心地域だけでなく、市全体の活性化につながる都市計画の議論がなされることを望みます。

住民投票を実施して大変良かったと思います。今後も、本当に大事な問題が生じたときは、地方行政では自分たちが身近で選んだ議員とは言いながらも、議会だけに任せるのではなく、有効に住民投票を活用することが望ましいと思います。また、投票を容易に実施できるよう、制度化も必要かと思えます。

二十年以上の多くの人々の熱い願いであったものを、市長の決断のないことで無にしてしまった。この地に住んでいて、文化・娯楽など若者向けのサービスの少なすぎることを痛感している。若者のますますの流出を今後も止められないだろうと思う。また、佐久市および佐久地方が、不況から一歩でも脱出できる機会が遠のいてしまった。

住民は今後、上田市、長野市、また首都圏に、日々の生活の癒しや娯楽を求めて出ていく。市長の言う交流人口の増加など、全くありえない。市の広報等も、全く、マイナスイメージばかりをPRするものであり、公平なものではなかった。住民投票自体が茶番劇であり、無駄遣いであった。管理運営に自信がなければ、最初から中止を主張すべきであった。

総合文化会館を造ることは良いことと思いますが、今現在、国や地方はお金がないので反対です。支持政党はないです。今回はこの党にと思いき選挙に行きますが、本当に国のことを思ってやってくれる人がいないようです。これからの日本がどうなるのか心配です。

文化会館を造ることについて、何もなく、住民投票のポスターがいきなり貼り出されたと思う。

この先、佐久市は人口15万を目指し、大きく希望を持って、東信にはない1,500人集客できる文化会館ぐらい持つことを望む。

今回の住民投票については、議会で決定されていた建設をどうしたら止めることができるのか、と考えて実施されたように思う。市長の予想通りだったのではないかな？ 市民は反対が圧倒的で(賛成の人に1人しか会わなかった)、議員一人一人が身近な人に聞いて回れば、3400万円かけなくても良かったのではないかなど。つまり、合併後いろいろ変わってきていることを、市議員さんたちも考えてほしいと。

住民の代表である市議会の考えと住民の意見が全く正反対だったことに関して、市議会に対する大変な不満がある。住民投票をするには大変な費用もかかるわけで、毎回毎回住民投票をすることもできず、住民の代表である市議会による客観的意見の吸い上げを求める。

今まで文化会館建設に向けかかった費用は、いったいどうなるのでしょうか。無駄になったと思います。

結果として反対になってしまいましたが、今後、空地の利用、補助金の返還等を考えると、これで財政はどうなるのか、市民の負担がこれ以上肩に重くならないか不安です。

埼玉県から越して4年半になります。空気、水、星空が素晴らしく、大切な土地です。佐久に親戚がいたわけではなく引っ越してきましたが、佐久の方々可愛がっていただいています。

私は仕事柄、多くの公立ホールで演奏しますし、「こけらおとし」でも呼んでいただいたりしてきました。(関東地区の)それら多くが運営に苦しみ、2~3年でホール常駐の技術者(音響・照明等)を置かなくなったり、役所から芸術などに興味のない公務員が「決まり事」だけで対応している有様だと、行く先々で感じます。「形」のないものへの関心を育む教育からやり直さねば、日本の「芸術・文化」は中身ののないものになると思います。ハードではなくソフトを大切に、既存のものを活かすことに金や力を使ってほしいと考えています。

住民投票、総合文化会館をめぐる問題以外で意見をさせてください。

現在の社会状況や国の財政問題を見ていると、かなり苦しい状態にあると思います。現在、国・地方で行っています事業仕分けも大事と思いますが、それ以前に、衆・参議員はじめ地方議員を含め、月々の歳費の削減を第一に実行することが先決だと思います。

謝辞

今回の調査実施にあたっては、多くの方々からのご助力をいただいた。「中央大学」のロゴ入り封筒の使用に際してご協力くださった大学院事務室、現地視察の際に温かく受け入れていただいた佐久市役所の関係職員の皆様、ならびに調査実施にあたって様々なご協力・アドバイスをいただいた多くの方に、厚く御礼を申し上げます。